平成２９年度

市民意識調査報告書

蕨市マスコットコットキャラクター「ワラビー」

蕨　　市

目次

調査の概要

１　目的 …… 1
２　調査内容 …… 1
３　調査方法 …… 1
４　回収結果 …… 1

調査の結果

【まちへの愛着】
問１　「自分のまち」としての愛着 …… 2
問２　愛着を感じている理由 …… 4

【永住意識】
問３　永住意識 …… 6
問４　住みたいと思う理由 …… 8
問５　住みたいと思わない理由 …… １２

【まちづくり】
＜防災について＞
問６　防災への備え …… １６
問７　災害発生時の情報取得 …… １８
＜自転車における交通安全について＞
問８　自転車の安全利用 …… １９
問９　ヘルメット未着用・保険未加入の理由 …… １９
＜子育てについて＞
問１０　子育てのしやすさ …… ２０
問１１　子育てしやすいと思う理由 …… ２２
問１２　子育てしやすいまちづくりのために大切なこと …… ２４
＜高齢期に大切なことについて＞
問１３　高齢期に大切なこと …… ２６
問１４　高齢期を生き生きと過ごすために大切な環境 …… ２８
＜まちのにぎわいについて＞
問１５　商店街・大型店の利用頻度 …… ３０
問１６　商店街への要望 …… ３２

＜健康づくり、運動・スポーツについて＞
問１７　健康に対する意識 ……３４
問１８　運動・スポーツの頻度 ……３５
問１９　運動・スポーツの種類 ……３６
＜ごみの減量化について＞
問２０　ごみの減量やリサイクルへの関心 ……３８
問２１　ごみを減らすための取り組み ……３９
＜市民活動について＞
問２２　地域等での活動（現在の状況、今後の意向） ……４０
問２３　地域等での活動の参加促進に必要なこと ……４２
＜市民参加について＞
問２４　市政の計画づくりやまちづくりへの参加意向 ……４４
＜協働のまちづくりについて＞
問２５　協働のまちづくりを進めるための行政の取り組み ……４６
問２６　協働のまちづくりを進めるための市民の取り組み ……４７

【重点施策】
問２７　重点施策（重要度・満足度）……４８

回答者の属性

ア　地区 ……５５
イ　性別 ……５５
ウ　年齢層 ……５５
エ　職業 ……５６
オ　通勤・通学地 ……５６
カ　住宅形態 ……５６
キ　居住年数 ……５７
ク　家族構成 ……５７

調査の概要

１　目的

この調査は、まちの将来像「安心とにぎわい　みんなにあたたかい　日本一のコンパクトシティ蕨」の実現を目指して、市民のまちづくりに対する意見や要望、満足度などを把握し、まちづくりの理念「みんなで未来の蕨を創る」に基づき、市民と行政が一体となったまちづくりを推進していく上で必要となる基礎資料を得ることを目的とする。

２　調査内容

1）　まちへの愛着
2）　永住意識
3）　まちづくり
　（ア）防災について
　（イ）自転車における交通安全について
　（ウ）子育てについて
　（エ）高齢期に大切なことについて
　（オ）まちのにぎわいについて
　（カ）健康づくり、運動・スポーツについて
　（キ）ごみの減量化について
　（ク）市民活動について
　（ケ）市民参加について
　（コ）協働のまちづくりについて
4）　重点施策

３　調査方法

1）調査期間　　平成29年8月1日から8月31日まで
2）調査対象　　市内在住の18歳以上の男女
3）対象者数　　1，000人
4）抽出方法　　住民基本台帳から各地区の年齢層別の人口比率に基づき、男女別に無作為抽出。
5）調査方法　　行政連絡員による送付、郵便による回答

４　回収結果

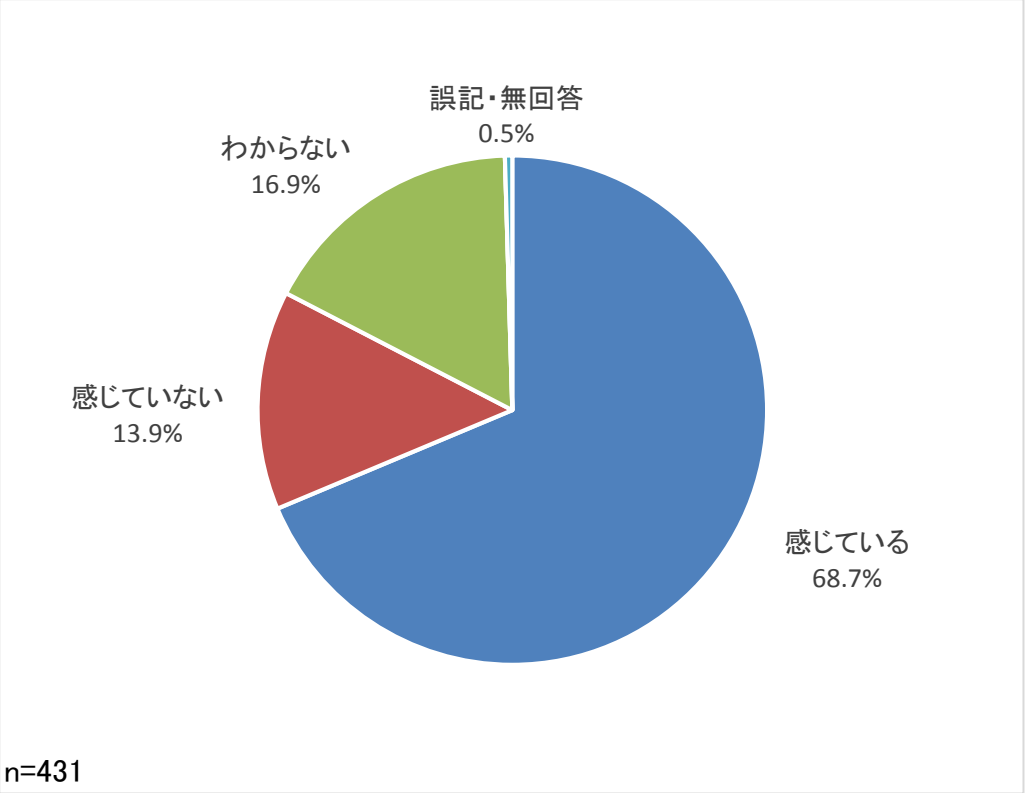
対象者1，000人に対し、431人から回答があり、回収率は43．1％。

調査の結果

【まちへの愛着】

問1　あなたは、蕨市に「自分のまち」としての愛着を感じていますか。（〇印は1つ）

回答対象者：431人	件数	割合	順位
感じている	296	68.7%	1
感じていない	60	13.9%	3
わからない	73	16.9%	2
誤記・無回答	2	0.5%	

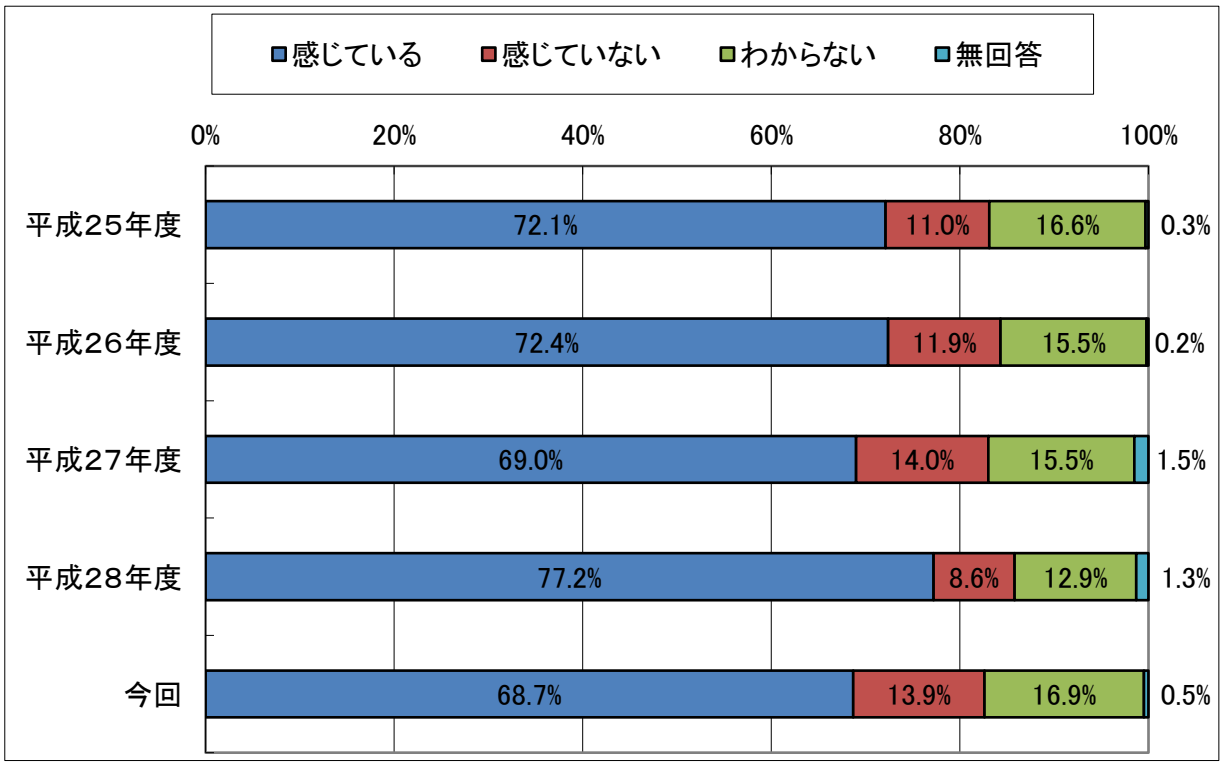


蕨市に自分のまちとしての愛着を感じている人は68.7％で、約7割の結果となっています。
一方、「感じていない」は13.9％、「わからない」は16.9％となっています。

＜経年変化＞

平成25年度からの推移を見ると、変動はあるものの、「感じている」の割合が近年は70％前後で推移しています。

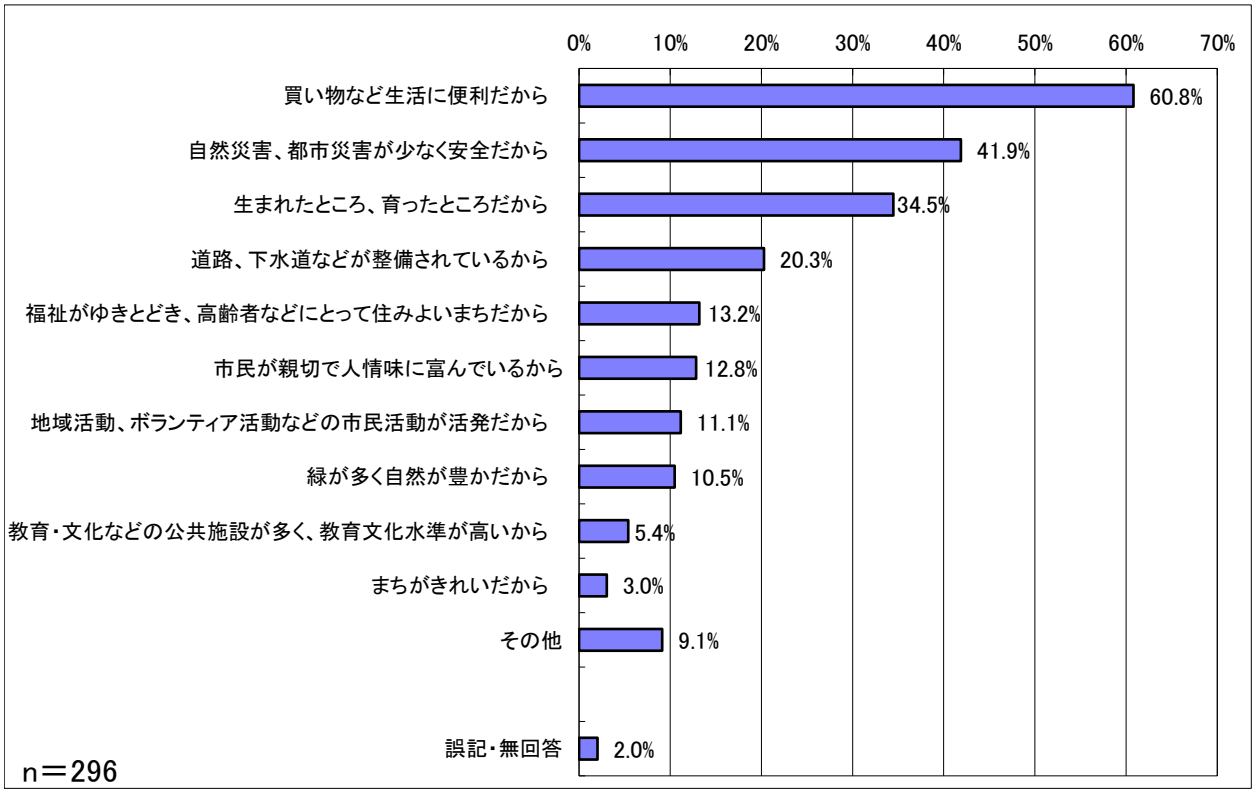
●まちへの愛着（平成25年度からの推移）



問1で「感じている」と答えた人のみ回答

問2　愛着を感じている理由はなんですか。（○印は3つ以内）

回答対象者：296人	件数	割合	順位
買い物など生活に便利だから	180	60.8%	1
自然災害、都市災害が少なく安全だから	124	41.9%	2
生まれたところ、育ったところだから	102	34.5%	3
道路、下水道などが整備されているから	60	20.3%	4
福祉がゆきとどき、高齢者などにとって住みよいまちだから	39	13.2%	5
市民が親切で人情味に富んでいるから	38	12.8%	6
地域活動、ボランティア活動などの市民活動が活発だから	33	11.1%	7
緑が多く自然が豊かだから	31	10.5%	8
教育・文化などの公共施設が多く、教育文化水準が高いから	16	5.4%	9
まちがきれいだから	9	3.0%	10
その他	27	9.1%	―
誤記・無回答	6	2.0%	



蕨市に自分のまちとしての愛着を感じていると答えた人に、その理由をたずねたところ、1位は「買い物など生活に便利だから」が60.8%、以下、「自然災害、都市災害が少なく安全だから」が41.9%、「生まれたところ、育ったところだから」が34.5%、「道路、下水道などが整備されているから」が20.3%と続いています。

＜経年変化＞

平成25年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はありませんが、平成29年度は、「福祉がゆきとどき、高齢者などにとって住みよいまちだから」の割合が10.4%から13.2%に増加し、5位になりました。

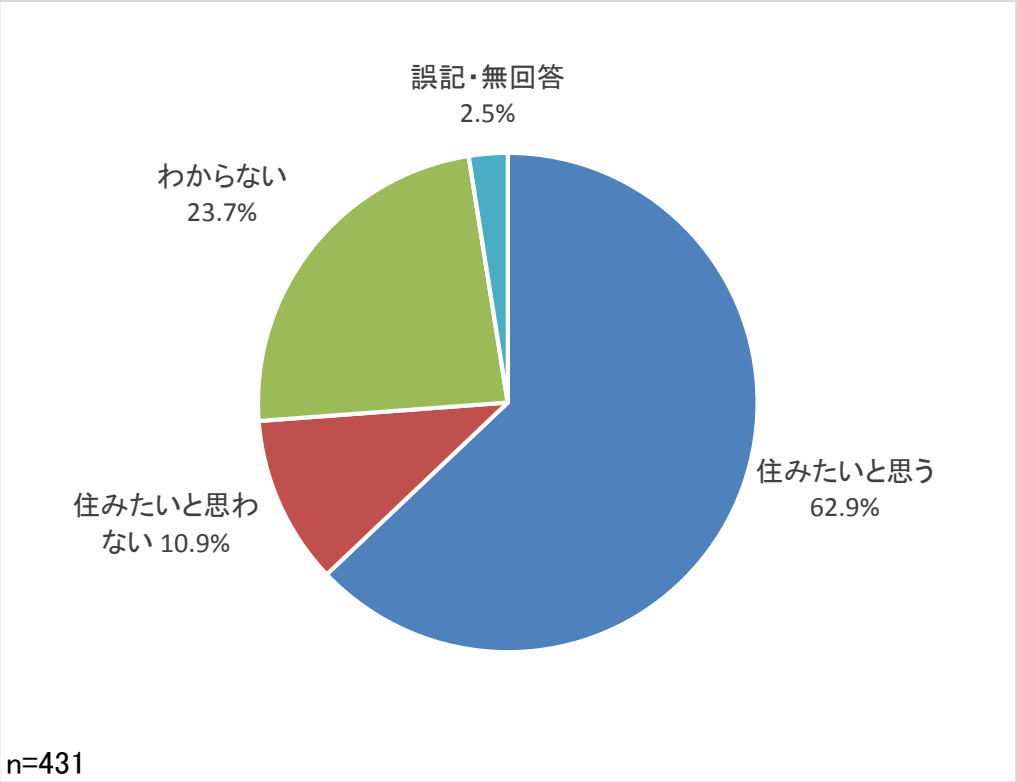
●愛着を感じている理由上位5位（平成25年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成25年度	買い物など生活に便利だから 52.0%	自然災害、都市災害が少なく安全だから 35.5%	道路、下水道などが整備されているから 23.8%	生まれたところ、育ったところだから 23.4%	市民が親切で人情味に富んでいるから 16.8%
平成26年度	買い物など生活に便利だから 64.4%	自然災害、都市災害が少なく安全だから 43.2%	生まれたところ、育ったところだから 30.9%	道路、下水道などが整備されているから 21.1%	緑が多く自然が豊かだから 11.7%
平成27年度	買い物など生活に便利だから 59.4%	自然災害、都市災害が少なく安全だから 40.1%	生まれたところ、育ったところだから 31.1%	道路、下水道などが整備されているから 23.7%	市民が親切で人情味に富んでいるから 13.1%
平成28年度	買い物など生活に便利だから 67.2%	自然災害、都市災害が少なく安全だから 37.7%	生まれたところ、育ったところだから 33.3%	道路、下水道などが整備されているから 19.7%	市民が親切で人情味に富んでいるから 16.9%
今回	買い物など生活に便利だから 60.8%	自然災害、都市災害が少なく安全だから 41.9%	生まれたところ、育ったところだから 34.5%	道路、下水道などが整備されているから 20.3%	福祉がゆきとどき、高齢者などにとって住みよいまちだから 13.2%

【永住意識】

問3　あなたは、これからもずっと蕨市に住みたいと思いますか。（〇印は1つ）

回答対象者：431人	件数	割合	順位
住みたいと思う	271	62.9%	1
住みたいと思わない	47	10.9%	3
わからない	102	23.7%	2
誤記・無回答	11	2.5%	－

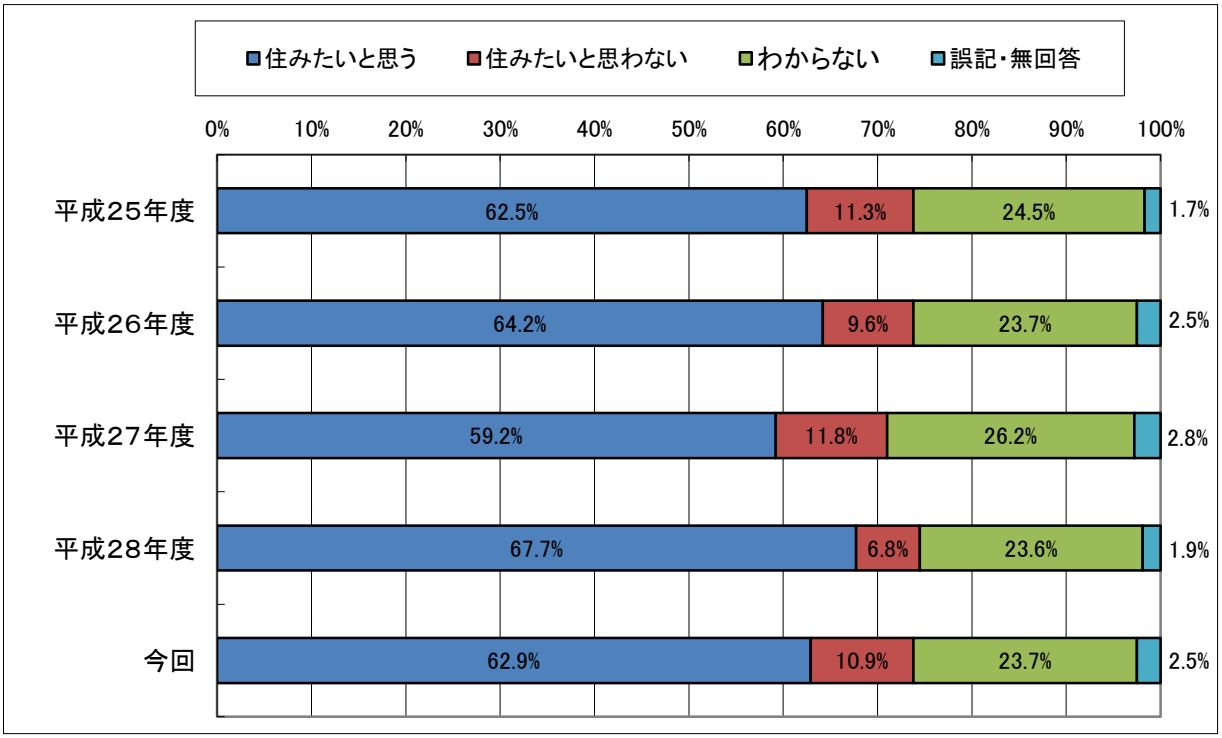


永住の意向についてたずねたところ、住みたいと思う人は62.9%、住みたいと思わない人は10.9%となっています。
一方、23.7%の人が「わからない」と答えています。

＜経年変化＞

平成25年度からの推移を見ると、「住みたいと思う」の割合は、近年60％前後で推移しています。

●永住意識（平成25年度からの推移）

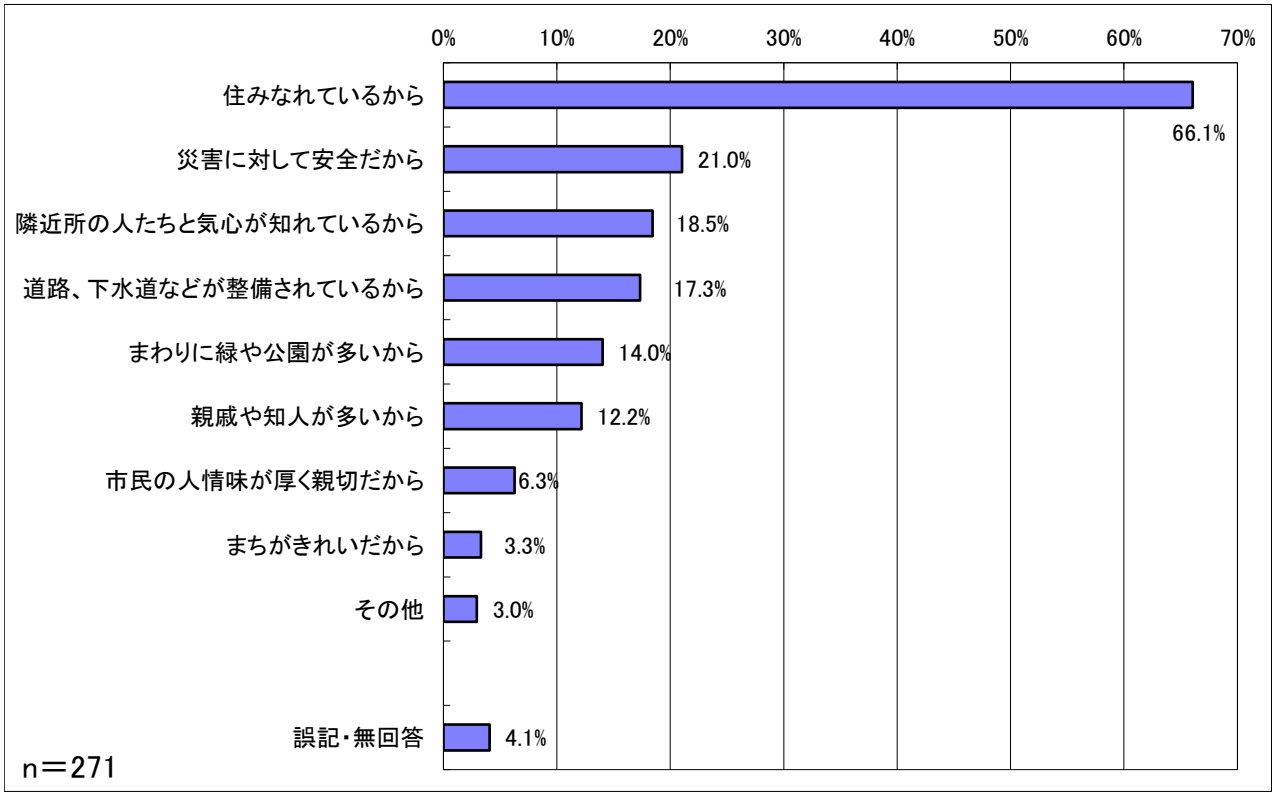


問3で「住みたいと思う」と答えた人のみ回答

問4 住みたいと思う理由はなんですか。最も近い理由を下欄からそれぞれお選びください。（○印はそれぞれ2つ以内）

●環境上の理由

回答対象者：271人	件数	割合	順位
住みなれているから	179	66.1%	1
災害に対して安全だから	57	21.0%	2
隣近所の人たちと気心が知れているから	50	18.5%	3
道路、下水道などが整備されているから	47	17.3%	4
まわりに緑や公園が多いから	38	14.0%	5
親戚や知人が多いから	33	12.2%	6
市民の人情味が厚く親切だから	17	6.3%	7
まちがきれいだから	9	3.3%	8
その他	8	3.0%	―
誤記・無回答	11	4.1%	



今後も蕨市に住みたいと答えた人に、その理由をたずねたところ、環境上の理由としては、「住みなれているから」が66.1％で最も多く、次いで「災害に対して安全だから」が21.0％、「隣近所の人たちと気心が知れているから」が18.5％、「道路、下水道などが整備されているから」が17.3％と続いています。

＜経年変化＞

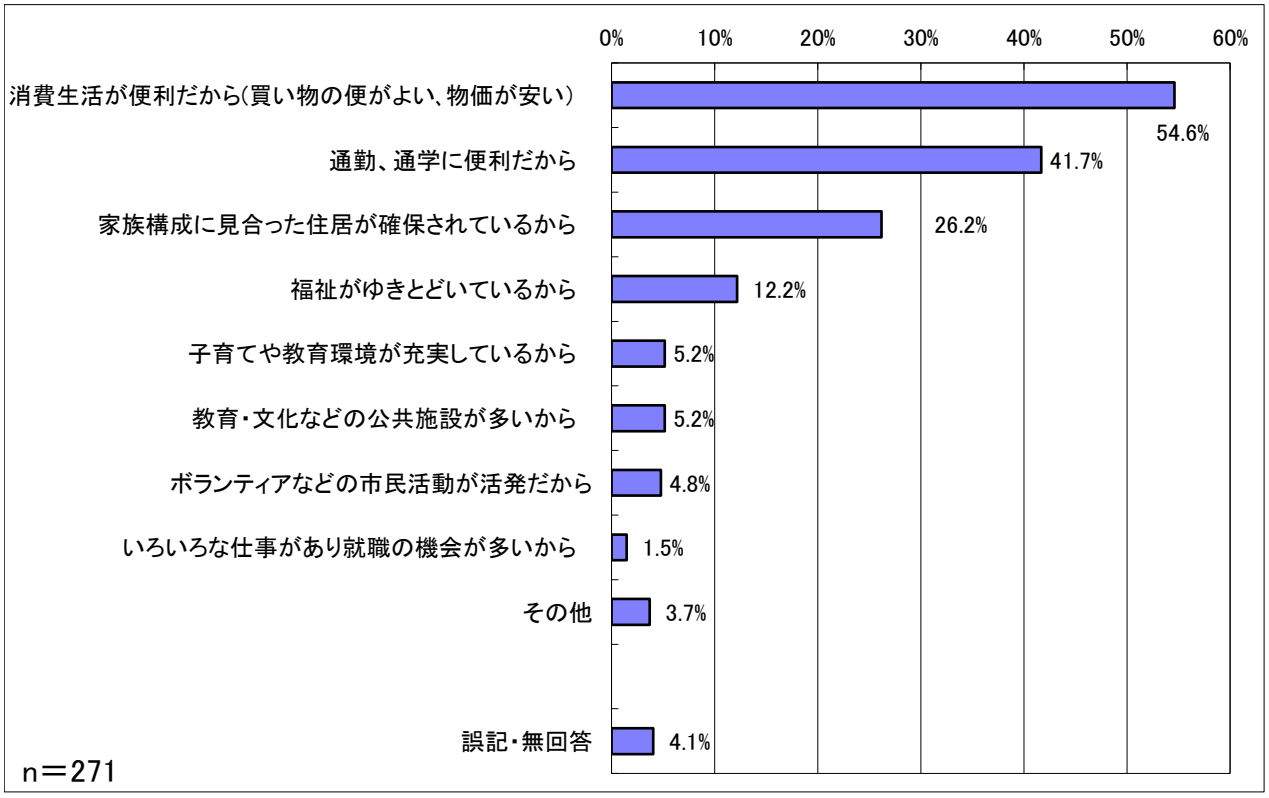
平成25年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はありませんが、近年60％前後で推移していた「住みなれているから」の割合が66.1%となっており、昨年に引き続き平成27年度以前より割合が多くなっています。

●住みたいと思う環境上の理由 上位5位（平成25年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成25年度	住みなれているから 50.9%	道路、下水道などが整備されているから 21.6%	災害に対して安全だから 19.4%	隣近所の人たちと気心が知れているから 15.8%	まわりに緑や公園が多いから 14.4%
平成26年度	住みなれているから 60.1%	災害に対して安全だから 26.7%	道路、下水道などが整備されているから 18.9%	まわりに緑や公園が多いから 14.6%	親戚や知人が多いから 13.2%
平成27年度	住みなれているから 59.6%	災害に対して安全だから 21.1%	道路、下水道などが整備されているから 19.3%	隣近所の人たちと気心が知れているから 19.1%	親戚や知人が多いから 11.9%
平成28年度	住みなれているから 68.2%	災害に対して安全だから 19.0%	道路、下水道などが整備されているから 隣近所の人たちと気心が知れているから 17.4%		親戚や知人が多いから 15.9%
今回	住みなれているから 66.1%	災害に対して安全だから 21.0%	隣近所の人たちと気心が知れているから 18.5%	道路、下水道などが整備されているから 17.3%	まわりに緑や公園が多いから 14.0%

●生活上の理由

回答対象者:271人	件数	割合	順位
消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い)	148	54.6%	1
通勤、通学に便利だから	113	41.7%	2
家族構成に見合った住居が確保されているから	71	26.2%	3
福祉がゆきとどいているから	33	12.2%	4
子育てや教育環境が充実しているから	14	5.2%	5
教育・文化などの公共施設が多いから	14	5.2%	5
ボランティアなどの市民活動が活発だから	13	4.8%	7
いろいろな仕事があり就職の機会が多いから	4	1.5%	8
その他	10	3.7%	―
誤記・無回答	11	4.1%	



今後も蕨市に住みたいと答えた人に、その理由をたずねたところ、生活上の理由としては、「消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い)」が54.6%と最も多く、次いで「通勤、通学に便利だから」が41.7%、「家族構成に見合った住居が確保されているから」が26.2%で上位となっています。

＜経年変化＞

平成25年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はありませんが、「消費生活が便利だから（買い物の便がよい、物価が安い）」の割合が近年では最も高くなっています。

●住みたいと思う生活上の理由 上位5位（平成25年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成25年度	消費生活が便利だから（買い物の便がよい、物価が安い） 56.8%	通勤、通学に便利だから 37.8%	家族構成に見合った住居が確保されているから 22.1%	教育・文化などの公共施設が多いから 9.9%	福祉がゆきとどいているから 9.5%
平成26年度	消費生活が便利だから（買い物の便がよい、物価が安い） 48.8%	通勤、通学に便利だから 43.8%	家族構成に見合った住居が確保されているから 25.6%	福祉がゆきとどいているから 11.4%	子どもの教育に便利だから 7.1%
平成27年度	消費生活が便利だから（買い物の便がよい、物価が安い） 56.5%	通勤、通学に便利だから 25.8%	家族構成に見合った住居が確保されているから 19.1%	福祉がゆきとどいているから 9.3%	教育・文化などの公共施設が多いから 5.6%
平成28年度	消費生活が便利だから（買い物の便がよい、物価が安い） 59.2%	通勤、通学に便利だから 41.1%	家族構成に見合った住居が確保されているから 24.3%	福祉がゆきとどいているから 12.1%	子育てや教育環境が充実しているから 4.7%
今回	消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い) 54.6%	通勤、通学に便利だから 41.7%	家族構成に見合った住居が確保されているから 26.2%	福祉がゆきとどいているから 12.2%	子育てや教育環境が充実しているから 教育・文化などの公共施設が多いから 5.2%

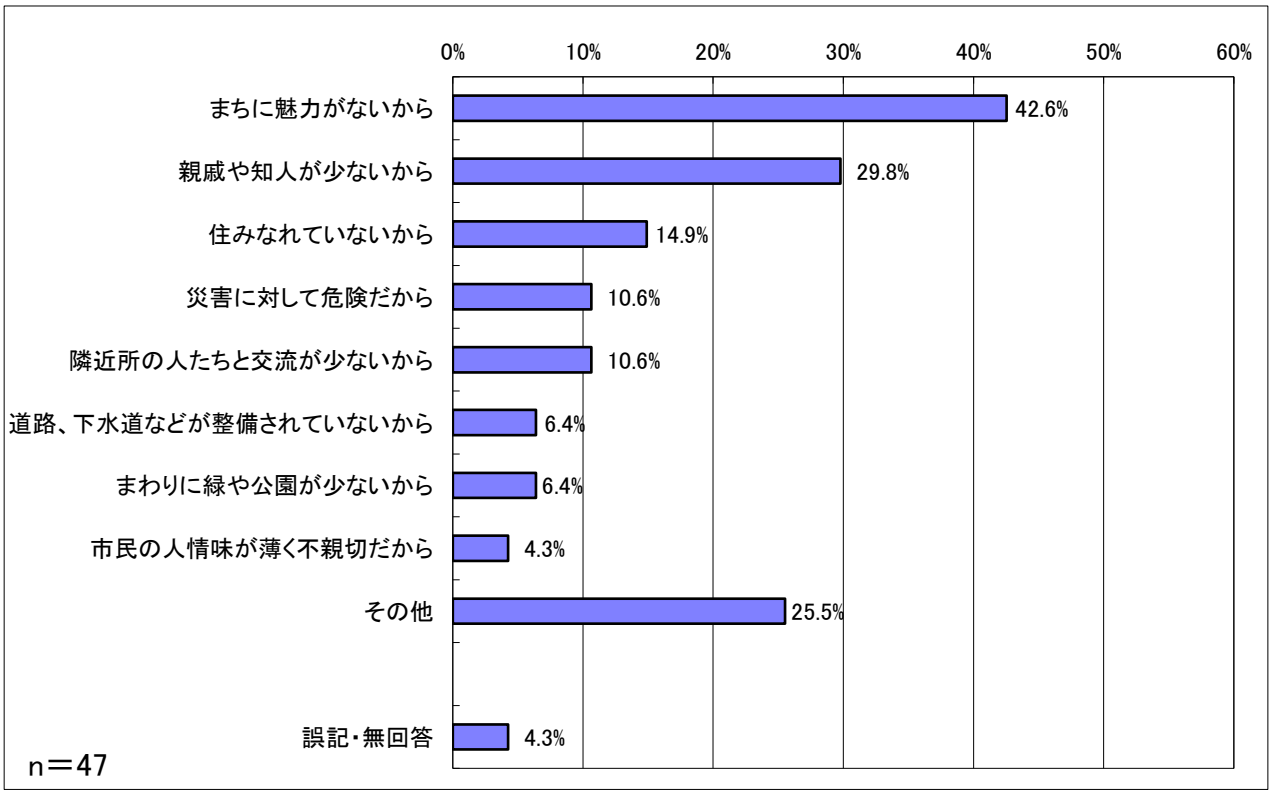
※平成28年度に選択肢の表現を見直し

問3で「住みたいと思わない」と答えた人のみ回答

問5 住みたいと思わない理由はなんですか。最も近い理由を下欄からそれぞれお選びください。（○印はそれぞれ2つ以内）

●環境上の理由

回答対象者：47人	件数	割合	順位
まちに魅力がないから	20	42.6%	1
親戚や知人が少ないから	14	29.8%	2
住みなれていないから	7	14.9%	3
災害に対して危険だから	5	10.6%	4
隣近所の人たちと交流が少ないから	5	10.6%	4
道路、下水道などが整備されていないから	3	6.4%	6
まわりに緑や公園が少ないから	3	6.4%	6
市民の人情味が薄く不親切だから	2	4.3%	8
その他	12	25.5%	―
誤記・無回答	2	4.3%	



蕨市に住みたいと思わないと答えた人に対し、その理由をたずねたところ、環境上の理由としては、「まちに魅力がないから」が42.6%と最も多く、次いで「親戚や知人が少ないから」が29.8%、「住みなれていないから」が14.9%と続いています。

＜経年変化＞

平成25年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はありませんが、昨年度に上昇した「まちに魅力がないから」の割合が大きく減少しています。
※母数が少ないことを考慮する必要があります。

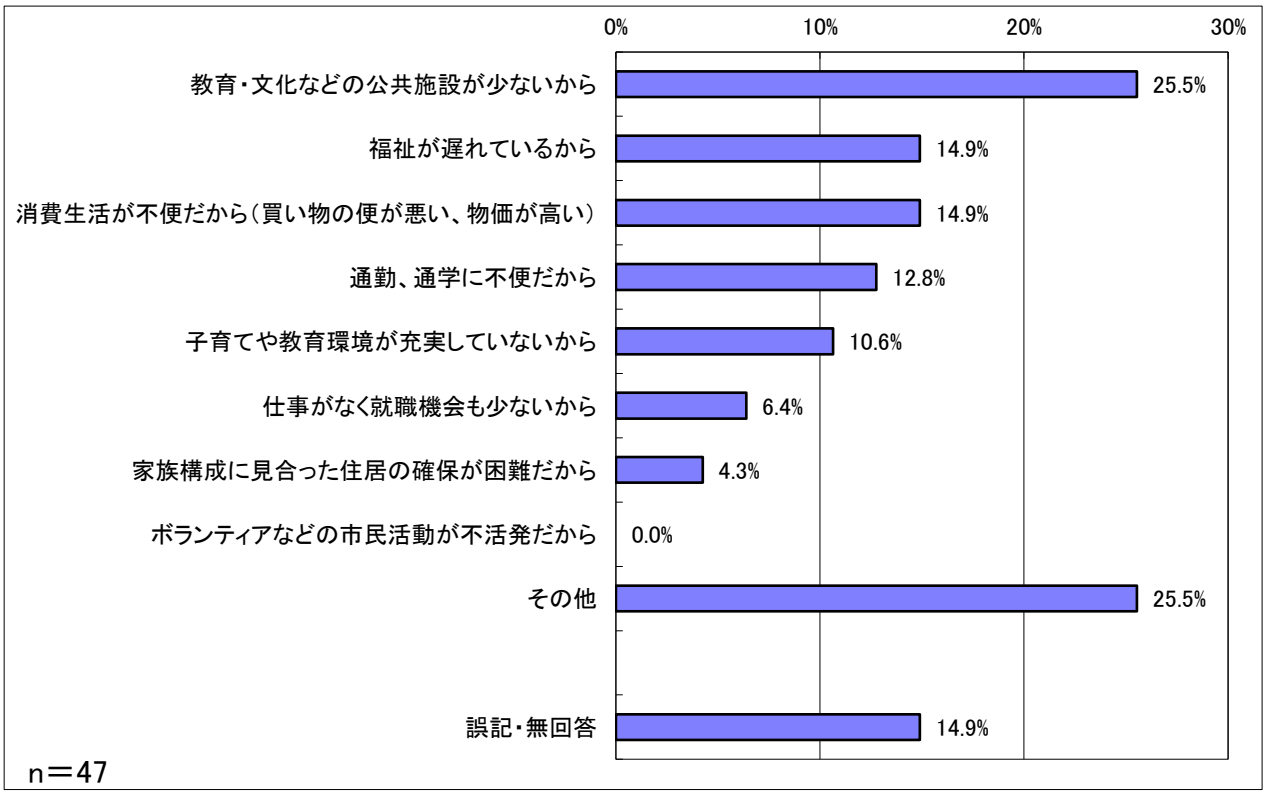
●住みたいと思わない環境上の理由 上位5位（平成25年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成25年度	まちに魅力がないから 52.5%	災害に対して危険だから 20.0%	まわりに緑や公園が少ないから 17.5%	市民の人情味が薄く不親切だから 15.0%	親戚や知人が少ないから/隣近所の人たちと交流が少ないから 10.0%
平成26年度	まちに魅力がないから 57.1%	親戚や知人が少ないから まわりに緑や公園が少ないから 住みなれていないから 11.9%			隣近所の人たちと交流が少ないから 9.5%
平成27年度	まちに魅力がないから 38.0%	まわりに緑や公園が少ないから 14.0%	住みなれていないから 12.0%	災害に対して危険だから 10.0%	道路、下水道などが整備されていないから 8.0%
平成28年度	まちに魅力がないから 53.1%	災害に対して危険だから 18.8%	まわりに緑や公園が少ないから 道路、下水道などが整備されていないから 12.5%		親戚や知人が少ないから 9.4%
今回	まちに魅力がないから 42.6%	親戚や知人が少ないから 29.8%	住みなれていないから 14.9%	災害に対して危険だから 隣近所の人たちと交流が少ないから 10.6%	

※「その他」は除く

●生活上の理由

回答対象者:47人	件数	割合	順位
教育・文化などの公共施設が少ないから	12	25.5%	1
福祉が遅れているから	7	14.9%	2
消費生活が不便だから(買い物の便が悪い、物価が高い)	7	14.9%	2
通勤、通学に不便だから	6	12.8%	4
子育てや教育環境が充実していないから	5	10.6%	5
仕事がなく就職機会も少ないから	3	6.4%	6
家族構成に見合った住居の確保が困難だから	2	4.3%	7
ボランティアなどの市民活動が不活発だから	0	0.0%	8
その他	12	25.5%	―
誤記・無回答	7	14.9%	



蕨市に住みたいと思わないと答えた人に対し、その理由をたずねたところ、生活上の理由としては、「教育・文化などの公共施設が少ないから」が25.5%、「福祉が遅れているから」、「消費生活が不便だから(買い物の便が悪い、物価が高い)」の2つが14.9%となっています。

＜経年変化＞

平成25年度からの推移を見ると、上位の項目の順位が変動する傾向がみられることから、住みたいと思わない理由が多様化していることが読み取れます。
※母数が少ないことを考慮する必要があります。

●住みたいと思わない生活上の理由 上位5位（平成25年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成25年度	消費生活が不便だから（買い物の便が悪い、物価が高い） 27.5%	教育・文化などの公共施設が少ないから 25.0%	子どもの教育に不便だから 17.5%	家族構成に見合った住居の確保が困難だから 12.5%	通勤、通学に不便だから 10.0%
平成26年度	福祉が遅れているから 21.4%	通勤、通学に不便だから 16.7%	教育・文化などの公共施設が少ないから 11.9%	消費生活が不便だから（買い物の便が悪い、物価が高い） 9.5%	子どもの教育に不便だから／家族構成に見合った住居の確保が困難だから／仕事がなく就職機会も少ないから 7.1%
平成27年度	家族構成に見合った住居の確保が困難だから 18.0%	教育・文化などの公共施設が少ないから 16.0%	福祉が遅れているから 15.0%	通勤、通学に不便だから 14.0%	消費生活が不便だから（買い物の便が悪い、物価が高い） 13.0%
平成28年度	教育・文化などの公共施設が少ないから 消費生活が不便だから（買い物の便が悪い、物価が高い） 子育てや教育環境が充実していないから 18.8%			福祉が遅れているから 15.6%	通勤、通学に不便だから／家族構成に見合った住居の確保が困難だから 9.4%
今回	教育・文化などの公共施設が少ないから 25.5%	福祉が遅れているから 消費生活が不便だから（買い物の便が悪い、物価が高い） 14.9%		通勤、通学に不便だから 12.8%	子育てや教育環境が充実していないから 10.6%

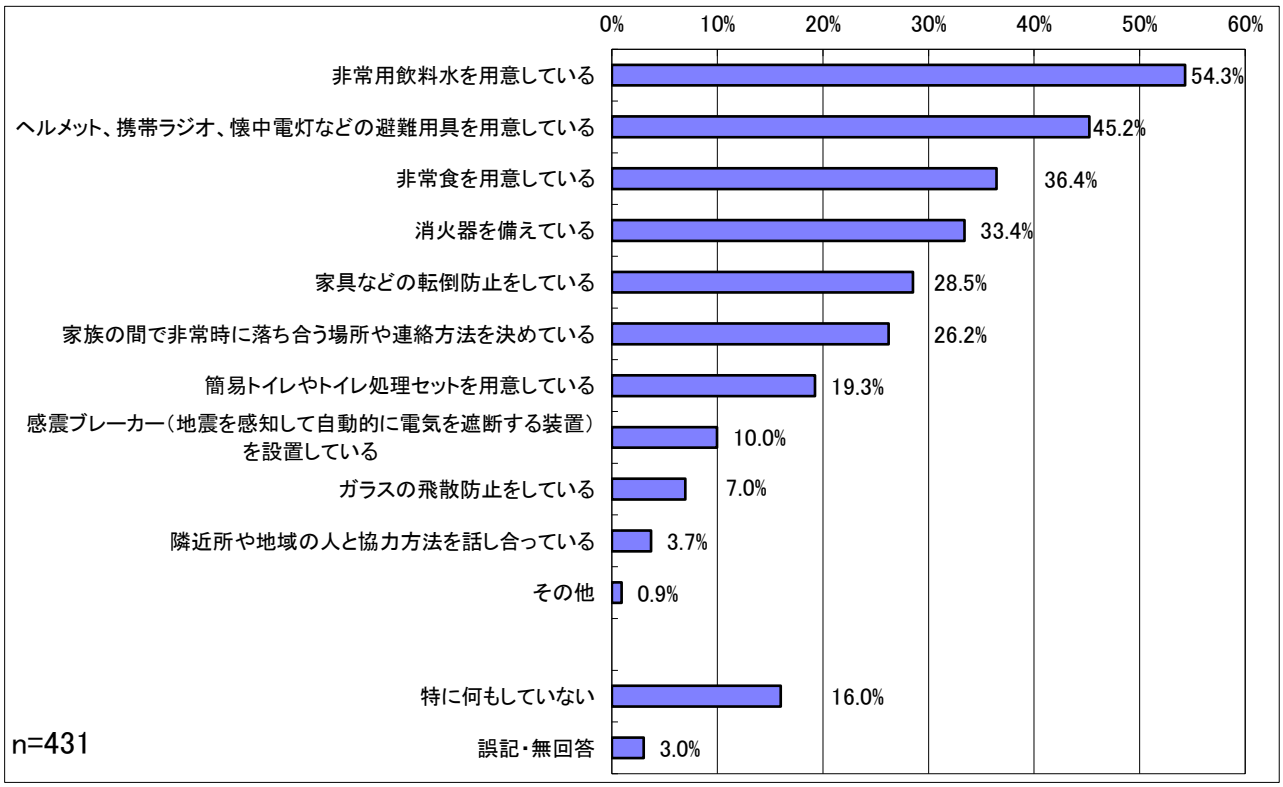
※「その他」は除く
※平成28年度に選択肢の表現を見直し

【まちづくり】

＜防災について＞

問6　あなたの家では、地震などの災害に備えて何か準備をしていますか。
（○印はいくつでも）

回答対象者：431人	件数	割合	順位
非常用飲料水を用意している	234	54.3%	1
ヘルメット、携帯ラジオ、懐中電灯などの避難用具を用意している	195	45.2%	2
非常食を用意している	157	36.4%	3
消火器を備えている	144	33.4%	4
家具などの転倒防止をしている	123	28.5%	5
家族の間で非常時に落ち合う場所や連絡方法を決めている	113	26.2%	6
簡易トイレやトイレ処理セットを用意している	83	19.3%	7
感震ブレーカー（地震を感知して自動的に電気を遮断する装置）を設置している	43	10.0%	8
ガラスの飛散防止をしている	30	7.0%	9
隣近所や地域の人と協力方法を話し合っている	16	3.7%	10
その他	4	0.9%	―
特に何もしていない	69	16.0%	
誤記・無回答	13	3.0%	



災害への備えについてたずねたところ、「非常用飲料水を用意している」が54.3%で最も多く、次いで「ヘルメット、携帯ラジオ、懐中電灯などの避難用具を用意している」が45.2%、「非常食を用意している」が36.4%となっており、物品の備えに関することが上位になりました。

また、およそ80%の人が何らかの災害に対する備えをしていると回答しています。

＜経年変化＞

平成25年度からの推移を見ると、「非常用飲料水を用意している」、「ヘルメット、携帯ラジオ、懐中電灯などの避難用具を用意している」、「非常食を用意している」といった上位3位までの構成に変化はありません。

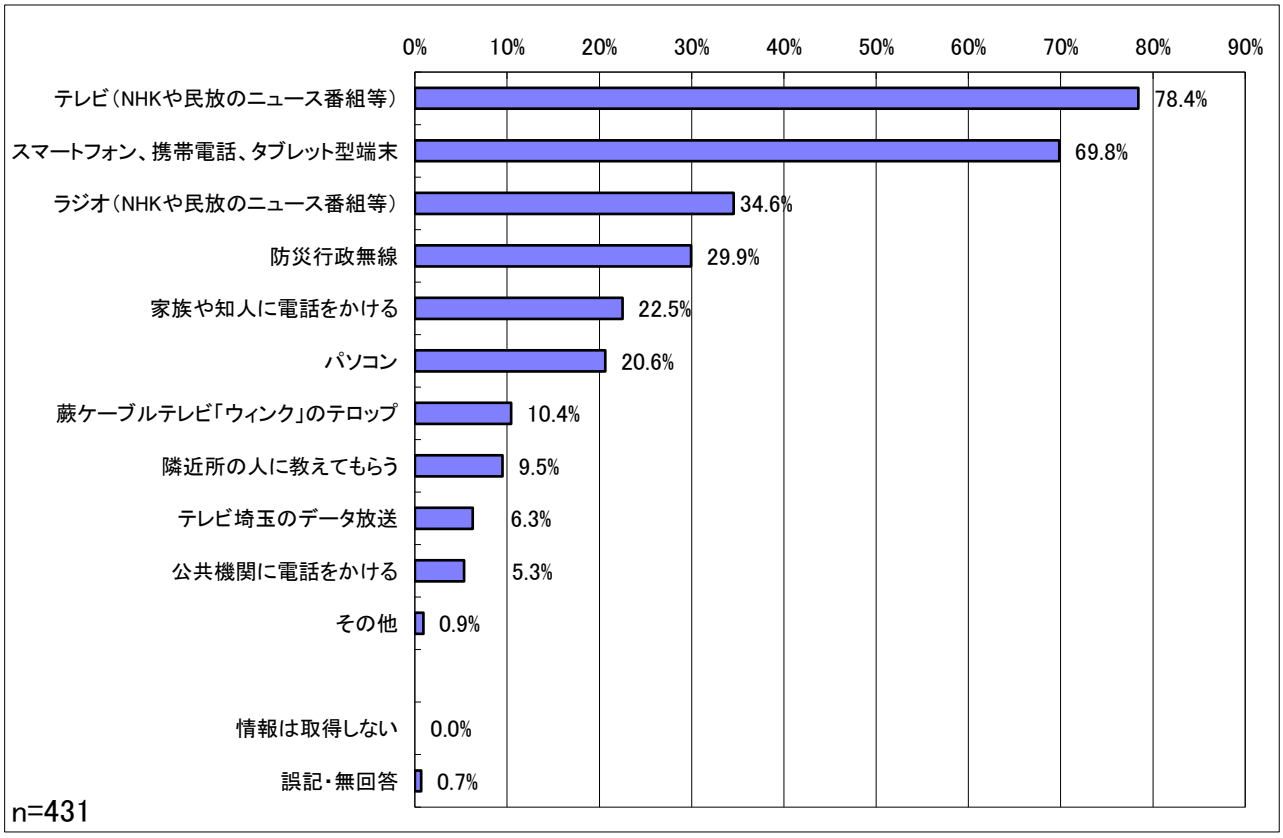
●災害に備えて準備していること 上位5位（平成25年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成25年度	非常用飲料水を用意している 53.5%	ヘルメット、携帯ラジオ、ローソクなどの避難用具を用意している 50.1%	非常食を用意している 40.8%	家具などの転倒防止をしている 39.4%	消火器を備えている 34.6%
平成26年度	非常用飲料水を用意している 52.5%	ヘルメット、携帯ラジオ、ローソクなどの避難用具を用意している 50.9%	非常食を用意している 44.3%	家具などの転倒防止をしている 34.7%	消火器を備えている 33.1%
平成27年度	非常用飲料水を用意している 52.7%	ヘルメット、携帯ラジオ、ローソクなどの避難用具を用意している 48.5%	非常食を用意している 40.8%	消火器を備えている 35.3%	家族の間で落ち合う場所や連絡方法を決めている 29.5%
平成28年度	非常用飲料水を用意している 54.6%	ヘルメット、携帯ラジオ、懐中電灯などの避難用具を用意している 49.6%	非常食を用意している 39.2%	消火器を備えている 34.8%	家具などの転倒防止をしている 31.0%
今回	非常用飲料水を用意している 54.3%	ヘルメット、携帯ラジオ、懐中電灯などの避難用具を用意している 45.2%	非常食を用意している 36.4%	消火器を備えている 33.4%	家具などの転倒防止をしている 28.5%

※平成28年度に選択肢の表現を見直し

問7　あなたは災害が発生した場合、どのような方法で情報を取得しますか。
（〇印はいくつでも）

回答対象者：431人	件数	割合	順位
テレビ（NHKや民放のニュース番組等）	338	78.4%	1
スマートフォン、携帯電話、タブレット型端末	301	69.8%	2
ラジオ（NHKや民放のニュース番組等）	149	34.6%	3
防災行政無線	129	29.9%	4
家族や知人に電話をかける	97	22.5%	5
パソコン	89	20.6%	6
蕨ケーブルテレビ「ウィンク」のテロップ	45	10.4%	7
隣近所の人に教えてもらう	41	9.5%	8
テレビ埼玉のデータ放送	27	6.3%	9
公共機関に電話をかける	23	5.3%	10
その他	4	0.9%	―
情報は取得しない	0	0.0%	
誤記・無回答	3	0.7%	



災害が発生した場合、どのような方法で情報を取得するかたずねたところ、「テレビ（NHKや民放のニュース番組等）」が78.4％で最も多く、次いで「スマートフォン、携帯電話、タブレット型端末」が69.8％と即時性が高い方法で情報を取得していることが伺えます。

＜自転車における交通安全について＞

問8　あなたと、あなたと同居のご家族における自転車の安全利用についてお伺いします。

回答対象者：431人	人数
家族の人数（あなたを含む）	1,176人
うち、自転車を利用する人数	832人
乗車時にヘルメットを着用する人数	56人
自転車保険に加入している人数	314人
TSマーク※付帯保険に加入している人数	241人
個人賠償責任保険の対象となる人数（自動車保険・火災保険の特約）	363人

自転車の安全利用についてたずねたところ、多くの方が自転車を利用されており、ヘルメットの着用割合は7％程度の結果となりました。

問8で「ヘルメットを未着用または保険に未加入」と答えた人のみ回答

問9　ヘルメットを着用しない、または保険に加入しない理由はなんですか。
（○印はいくつでも）

ヘルメットを着用しない理由（回答対象者：361人）	件数	割合	順位
そもそも意識したことがない	196	54.3%	1
重い、蒸れるなど不快 髪型が崩れる	81	22.4%	2
交通ルールを守っているため不要	68	18.8%	3
見た目が悪い	44	12.2%	4
値段が高い	18	5.0%	5
その他	22	6.1%	—
誤記・無回答	73	20.2%	

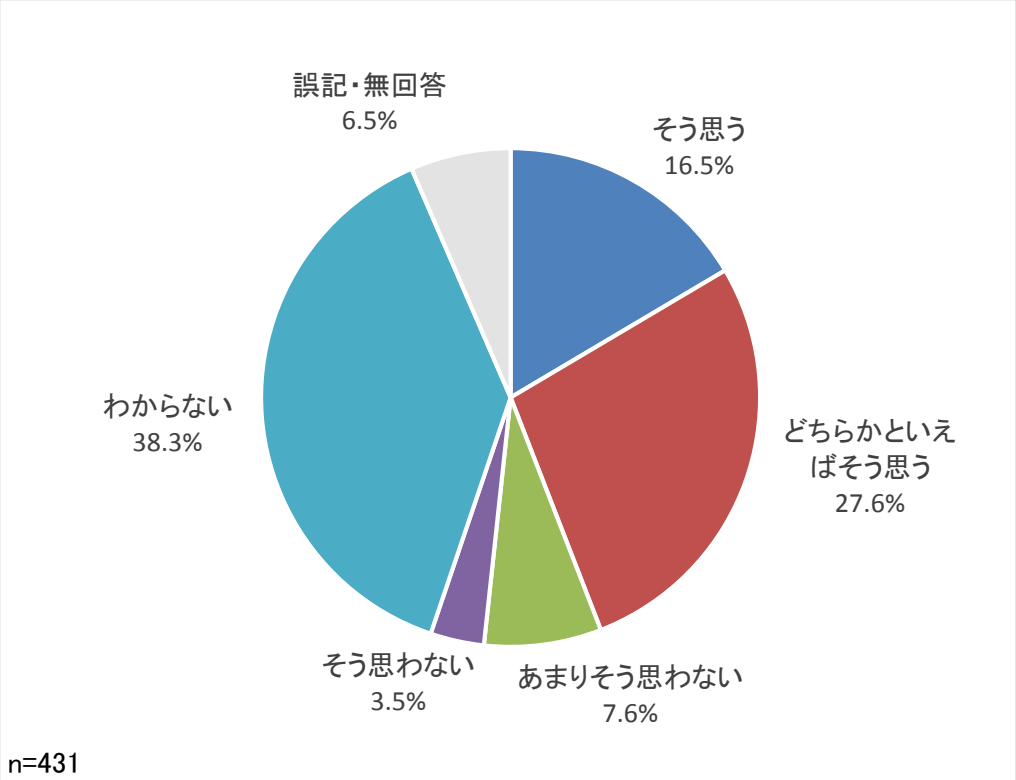
保険に加入しない理由（回答対象者：158人）	件数	割合	順位
そもそも意識したことがない	106	67.1%	1
交通ルールを守っているため不要	26	16.5%	2
加入方法が分からない	24	15.2%	3
保険料が高い	23	14.6%	4
手続きが面倒	20	12.7%	5
その他	20	12.7%	—
誤記・無回答	33	20.9%	

ヘルメットを着用しない理由、保険に加入しない理由をたずねたところ、どちらも「そもそも意識したことがない」という回答が多数となる結果となりました。

＜子育てについて＞

問10　蕨市は子育てしやすいまちだと思いますか。（〇印は1つ）

回答対象者：431人	件数	割合	順位
そう思う	71	16.5%	3
どちらかといえばそう思う	119	27.6%	2
あまりそう思わない	33	7.6%	4
そう思わない	15	3.5%	5
わからない	165	38.3%	1
誤記・無回答	28	6.5%	

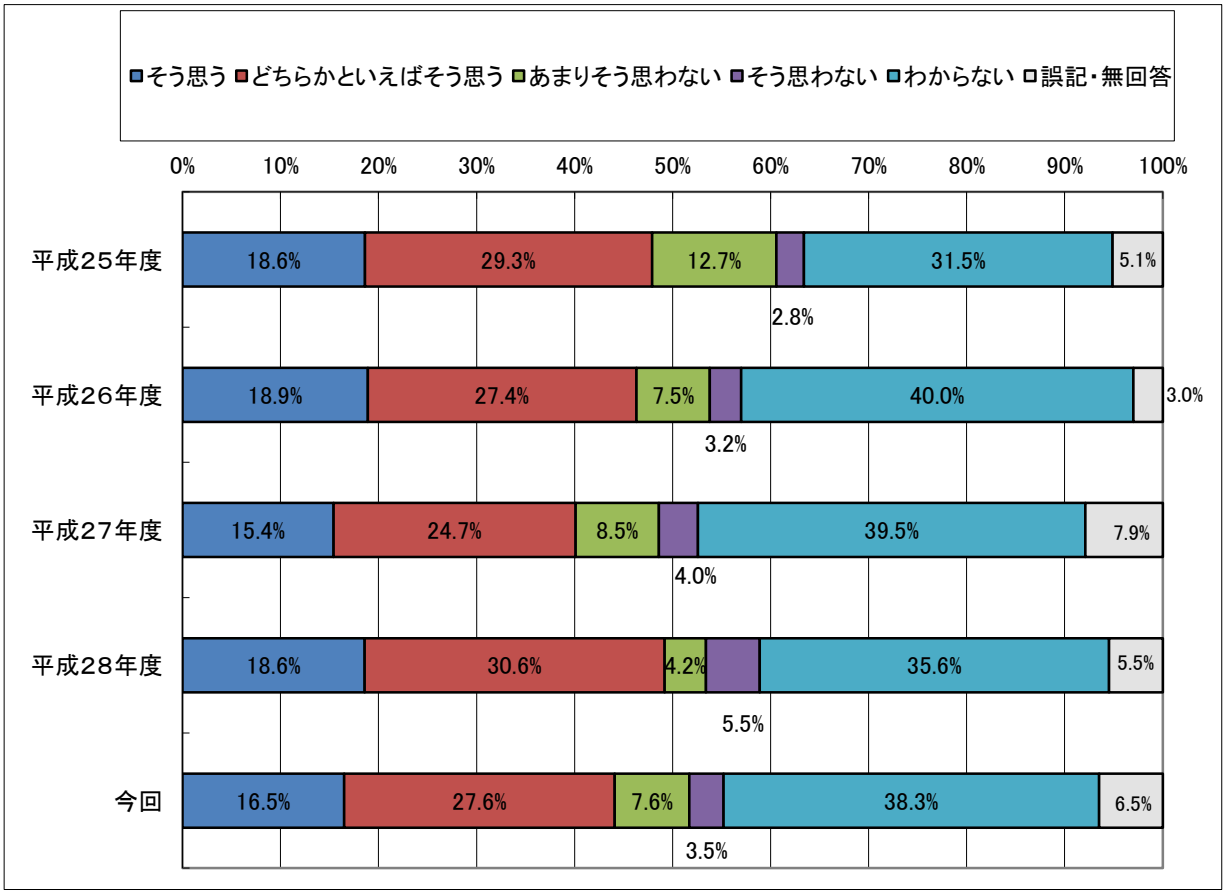


蕨市は子育てしやすいまちだと思うかたずねたところ、「そう思う」16.5%、「どちらかといえばそう思う」27.6%を合わせると44.1%、一方、「そう思わない」3.5%、「あまりそう思わない」7.6%を合わせると11.6%となりました。
また、約4割の人が「わからない」と答えています。

＜経年変化＞

平成25年度からの推移を見ると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が平均して45％程度となっています。

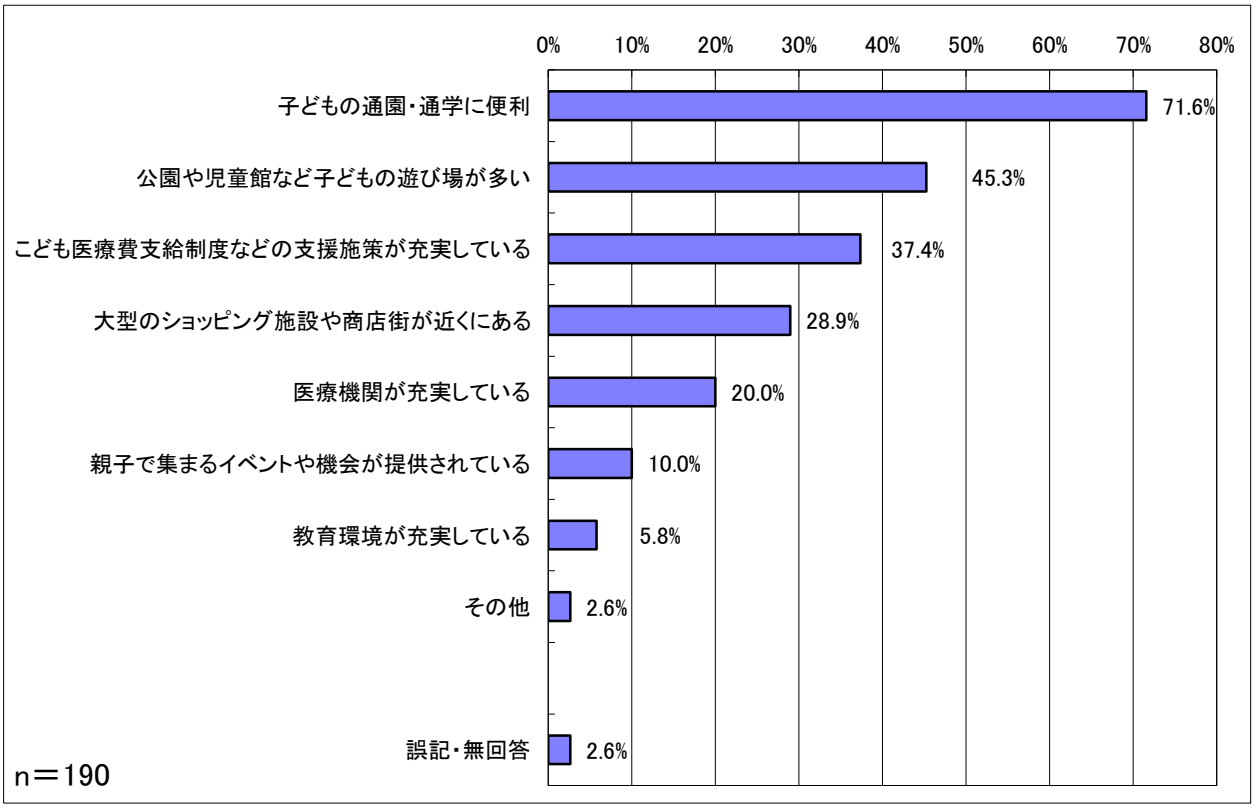
●子育てについて（平成25年度からの推移）



問10で「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」と答えた人のみ回答

問11　子育てがしやすいと思う理由はなんですか。（〇印は3つ以内）

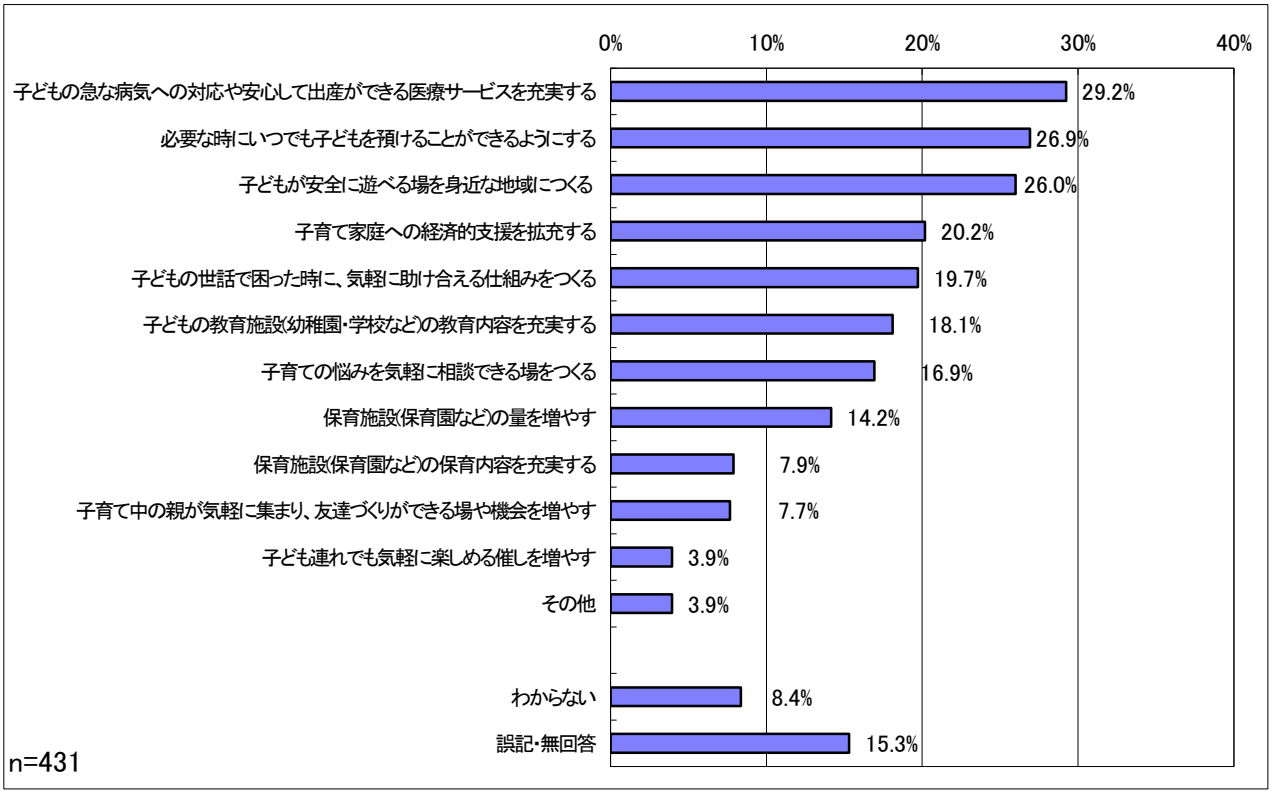
回答対象者：190人	件数	割合	順位
子どもの通園・通学に便利	136	71.6%	1
公園や児童館など子どもの遊び場が多い	86	45.3%	2
こども医療費支給制度などの支援施策が充実している	71	37.4%	3
大型のショッピング施設や商店街が近くにある	55	28.9%	4
医療機関が充実している	38	20.0%	5
親子で集まるイベントや機会が提供されている	19	10.0%	6
教育環境が充実している	11	5.8%	7
その他	5	2.6%	―
誤記・無回答	5	2.6%	



蕨市が子育てしやすいまちだと感じている人に、その理由をたずねたところ、1位は「子どもの通園・通学に便利」が71.6%、以下、「公園や児童館など子どもの遊び場が多い」が45.3%、「こども医療費支給制度などの支援施策が充実している」が37.4%、「大型のショッピング施設や商店街が近くにある」が28.9%と続いています。

問12 蕨市をより子育てしやすいまちにするためには、どのようなことが大切だと思いますか。（○印は3つ以内）

回答対象者：431人	件数	割合	順位
子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスを充実する	126	29.2%	1
必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする	116	26.9%	2
子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる	112	26.0%	3
子育て家庭への経済的支援を拡充する	87	20.2%	4
子どもの世話で困った時に、気軽に助け合える仕組みをつくる	85	19.7%	5
子どもの教育施設(幼稚園・学校など)の教育内容を充実する	78	18.1%	6
子育ての悩みを気軽に相談できる場をつくる	73	16.9%	7
保育施設(保育園など)の量を増やす	61	14.2%	8
保育施設(保育園など)の保育内容を充実する	34	7.9%	9
子育て中の親が気軽に集まり、友達づくりができる場や機会を増やす	33	7.7%	10
子ども連れでも気軽に楽しめる催しを増やす	17	3.9%	11
その他	17	3.9%	―
わからない	36	8.4%	
誤記・無回答	66	15.3%	



蕨市をより子育てしやすいまちにするために大切なことをたずねたところ、「子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスを充実する」が29.2%と最も多く、次いで、「必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする」が26.9%、「子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる」が26.0%と続いています。

＜経年変化＞

平成25年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はありません。また、平成27年度に4位だった「保育施設（保育園など）の量を増やす」、は今年度8位となり、昨年度の7位に引き続き上位から外れています。

●子育てしやすいまちにするため大切だと思うこと 上位5位（平成25年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成25年度	子どもの急な病気に対応できる医療サービスを充実する 46.2%	子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 36.6%	必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする 34.6%	幼稚園、保育所、学校など子どもの保育、教育を充実する 34.1%	子どもの世話で困った時に、気軽に助け合える仕組みをつくる 20.0%
平成26年度	子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サー 38.4%	必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする 29.0%	子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 28.5%	子どもの世話で困った時に、気軽に助け合える仕組みをつく 22.4%	保育施設(保育園など)の量を増やす 22.1%
平成27年度	子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスを充実する 35.9%	必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする 27.8%	子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 27.3%	保育施設(保育園など)の量を増やす 20.2%	子育て家庭への経済的支援を拡充する 19.6%
平成28年度	子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスを充実する 32.1%	必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする 26.4%	子育て家庭への経済的支援を拡充する 子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 23.0%		子どもの世話で困った時に、気軽に助け合える仕組みをつくる 20.7%
今回	子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスを充実する 29.2%	必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする 26.9%	子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 26.0%	子育て家庭への経済的支援を拡充する 20.2%	子どもの世話で困った時に、気軽に助け合える仕組みをつくる 19.7%

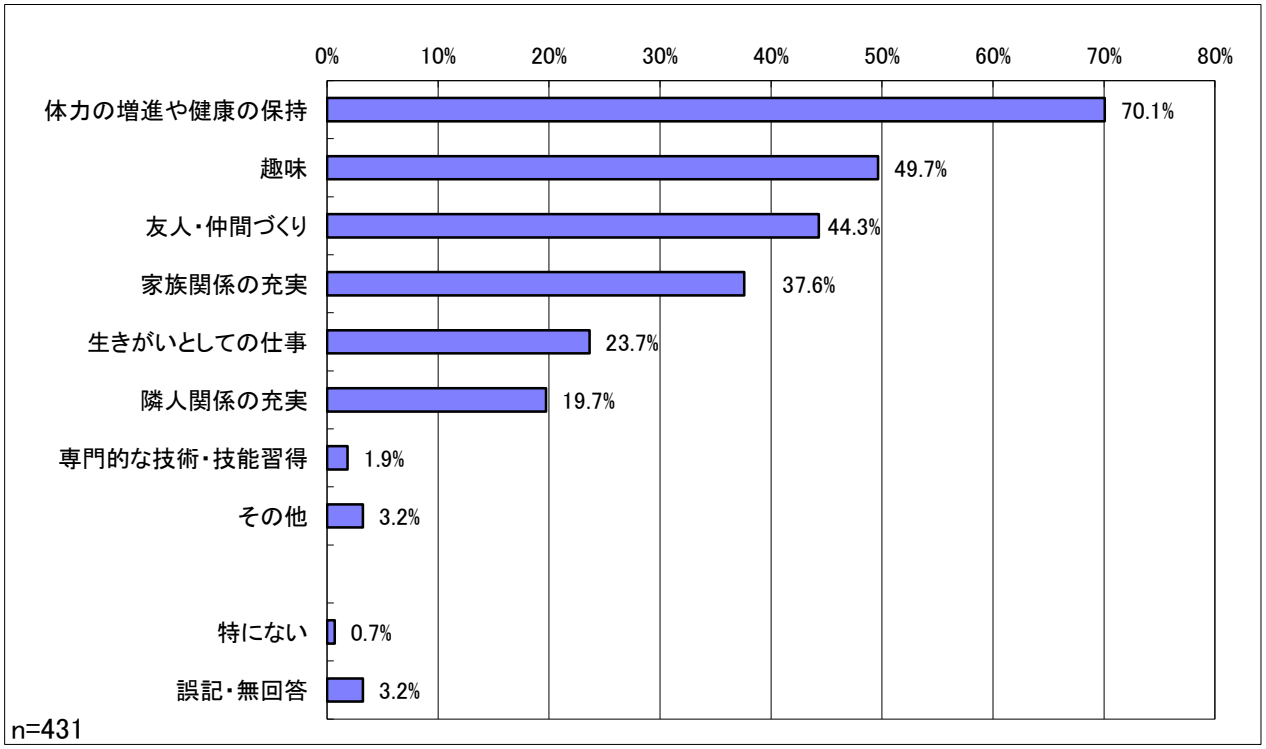
※回答項目の修正をしている箇所があるため同じ選択項目になっていません。

※平成26年度より回答の選択肢を増やしたため、割合が全体的に下がっています。
（11項目→13項目）

＜高齢期に大切なことについて＞

問13 あなたが高齢期を迎える（迎えた）ときに何が大切だと思いますか。
（○印は3つ以内）

回答対象者：431人	件数	割合	順位
体力の増進や健康の保持	302	70.1%	1
趣味	214	49.7%	2
友人・仲間づくり	191	44.3%	3
家族関係の充実	162	37.6%	4
生きがいとしての仕事	102	23.7%	5
隣人関係の充実	85	19.7%	6
専門的な技術・技能習得	8	1.9%	7
その他	14	3.2%	―
特にない	3	0.7%	
誤記・無回答	14	3.2%	



高齢期を迎える（迎えた）ときに大切だと思うことについてたずねたところ、「体力の増進や健康の保持」が70.1％と最も多く、次いで、「趣味」が49.7％、「友人・仲間づくり」が44.3％、「家族関係の充実」が37.6％となっています。

＜経年変化＞

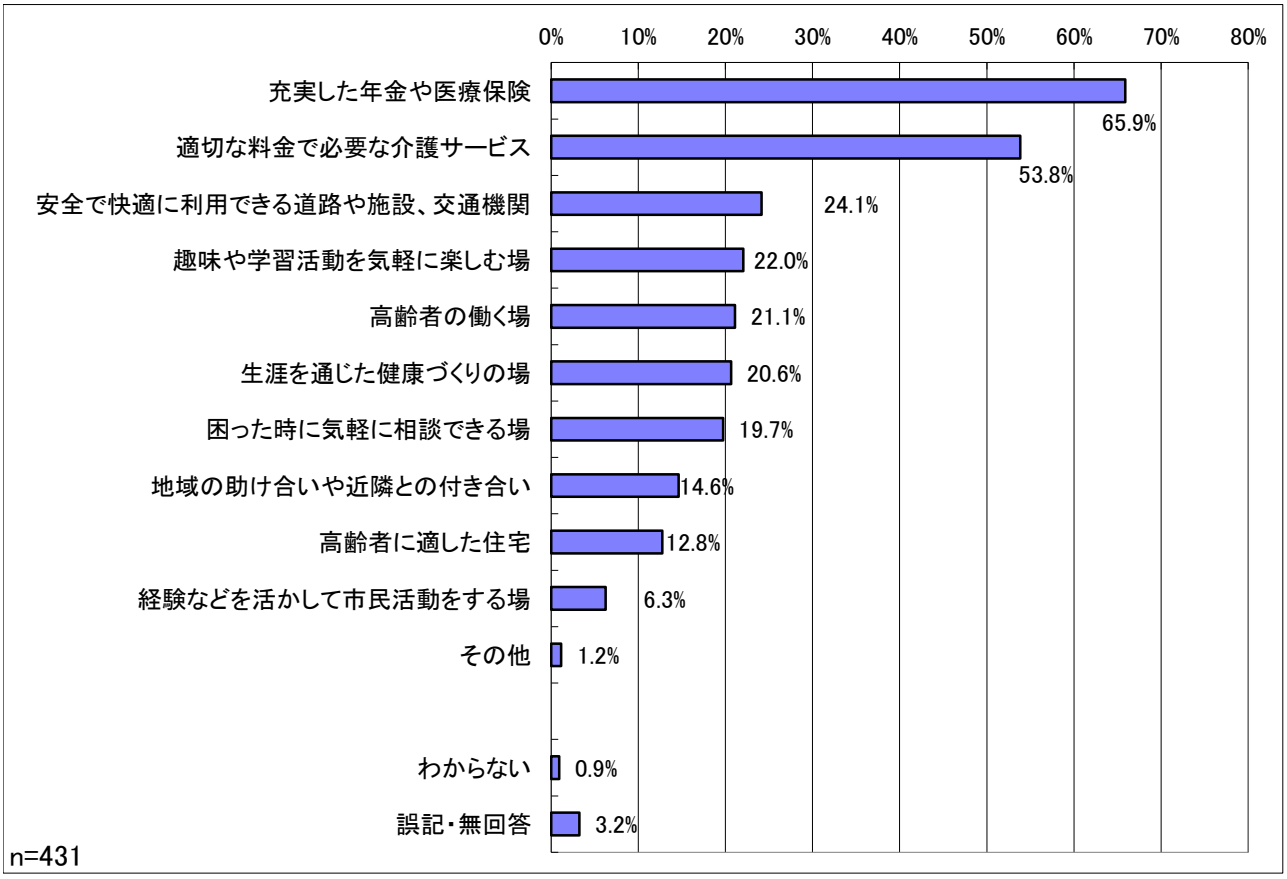
平成25年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はありませんが、「体力の増進や健康の保持」の回答割合に上昇傾向が見られます。

●高齢期を迎える（迎えた）ときに大切だと思うこと 上位5位（平成25年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成25年度	体力の増進や健康の保持 65.4%	趣味 53.2%	友人・仲間づくり 49.0%	家族関係の充実 31.3%	隣人関係の充実 29.3%
平成26年度	体力の増進や健康の保持 69.6%	趣味 54.3%	友人・仲間づくり 47.0%	家族関係の充実 39.3%	生きがいとしての仕事 20.8%
平成27年度	体力の増進や健康の保持 68.1%	趣味 48.0%	友人・仲間づくり 45.4%	家族関係の充実 35.9%	生きがいとしての仕事 22.6%
平成28年度	体力の増進や健康の保持 68.6%	趣味 57.6%	友人・仲間づくり 48.5%	家族関係の充実 37.3%	生きがいとしての仕事／隣人関係の充実 18.1%
今回	体力の増進や健康の保持 70.1%	趣味 49.7%	友人・仲間づくり 44.3%	家族関係の充実 37.6%	生きがいとしての仕事 23.7%

問14 高齢期を生き生きと過ごせるまちにするため、どのような環境が大切だと思いますか。（○印は3つ以内）

回答対象者：431人	件数	割合	順位
充実した年金や医療保険	284	65.9%	1
適切な料金で必要な介護サービス	232	53.8%	2
安全で快適に利用できる道路や施設、交通機関	104	24.1%	3
趣味や学習活動を気軽に楽しむ場	95	22.0%	4
高齢者の働く場	91	21.1%	5
生涯を通じた健康づくりの場	89	20.6%	6
困った時に気軽に相談できる場	85	19.7%	7
地域の助け合いや近隣との付き合い	63	14.6%	8
高齢者に適した住宅	55	12.8%	9
経験などを活かして市民活動をする場	27	6.3%	10
その他	5	1.2%	－
わからない	4	0.9%	
誤記・無回答	14	3.2%	



高齢期を生き生きと過ごせるまちにするために大切な環境についてたずねたところ、「充実した年金や医療保険」が65.9%と最も多く、次いで「適切な料金で必要な介護サービス」の53.8%と、高齢期の生活基盤・医療・福祉が充実した環境を必要とする回答が多くなっています。

＜経年変化＞

平成25年度からの推移を見ると、1位と2位の項目に変動はありませんが、3位以下の項目は毎年入れ替わっています。そのなかで、「高齢者の働く場」に近年上昇傾向が見られます。

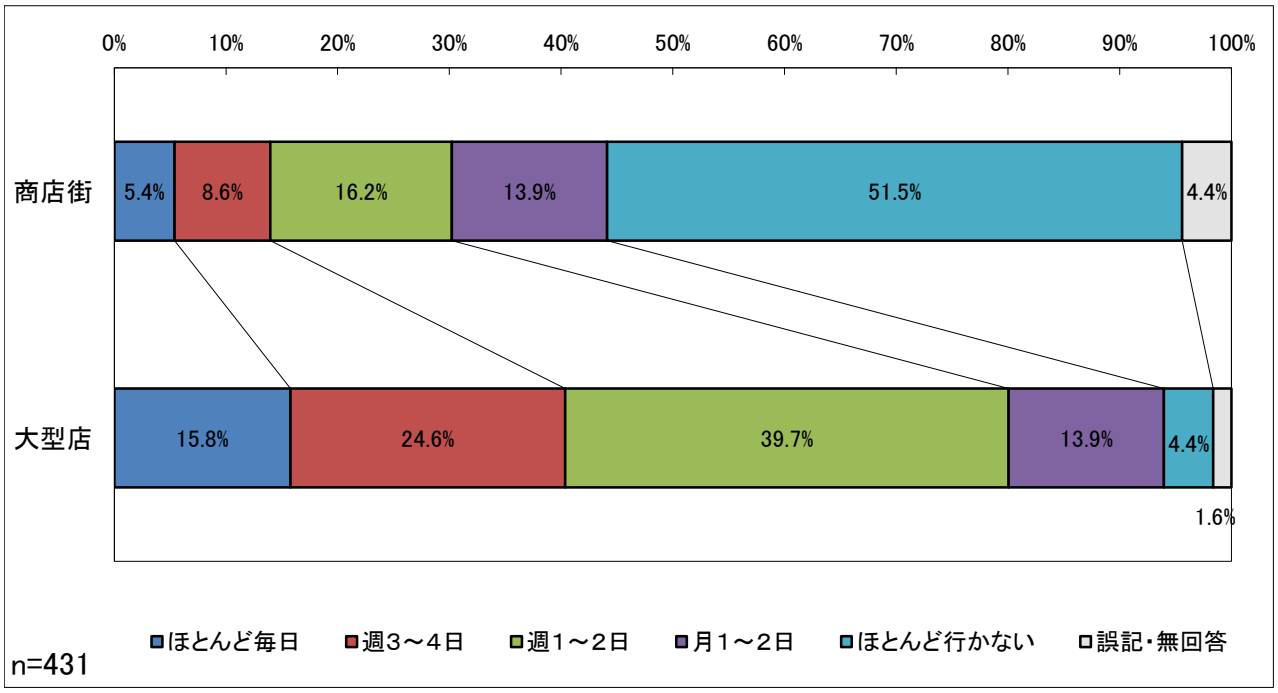
●高齢期を生き生きと過ごせるまちにするために大切な環境 上位5位（平成25年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成25年度	充実した年金や医療保険 62.8%	適切な料金で必要な介護サービス 48.2%	趣味や学習活動を気軽に楽しむ場 28.2%	安全で快適に利用できる道路や施設、交通機関 25.6%	困った時に気軽に相談できる場 22.5%
平成26年度	充実した年金や医療保険 68.5%	適切な料金で必要な介護サービス 51.4%	趣味や学習活動を気軽に楽しむ場 26.9%	地域の助け合いや近隣との付き合い 21.5%	生涯を通じた健康づくりの場 19.6%
平成27年度	充実した年金や医療保険 66.6%	適切な料金で必要な介護サービス 51.9%	安全で快適に利用できる道路や施設、交通機関 22.0%	困った時に気軽に相談できる場 20.5%	趣味や学習活動を気軽に楽しむ場 19.5%
平成28年度	充実した年金や医療保険 68.1%	適切な料金で必要な介護サービス 54.9%	趣味や学習活動を気軽に楽しむ場 22.6%	生涯を通じた健康づくりの場 19.8%	高齢者の働く場 19.4%
今回	充実した年金や医療保険 65.9%	適切な料金で必要な介護サービス 53.8%	安全で快適に利用できる道路や施設、交通機関 24.1%	趣味や学習活動を気軽に楽しむ場 22.0%	高齢者の働く場 21.1%

＜まちのにぎわいについて＞

問15 買い物についてお伺いします。あなたが商店街や大型店（スーパーマーケット、デパート）へ行く頻度について、あてはまるものをお選びください。（○印はそれぞれ1つ）

	商店街			大型店		
回答対象者：431人	件数	割合	順位	件数	割合	順位
ほとんど毎日	23	5.4%	5	68	15.8%	3
週3～4日	37	8.6%	4	106	24.6%	2
週1～2日	70	16.2%	2	171	39.7%	1
月1～2日	60	13.9%	3	60	13.9%	4
ほとんど行かない	222	51.5%	1	19	4.4%	5
誤記・無回答	19	4.4%		7	1.6%	



商店街や大型店（スーパーマーケット、デパート）へ買い物に行く頻度をたずねたところ、「ほとんど毎日」「週3～4日」「週1～2日」の割合の合計は、商店街の30.2%に対し、大型店は80.1%で3倍近い数値になっています。

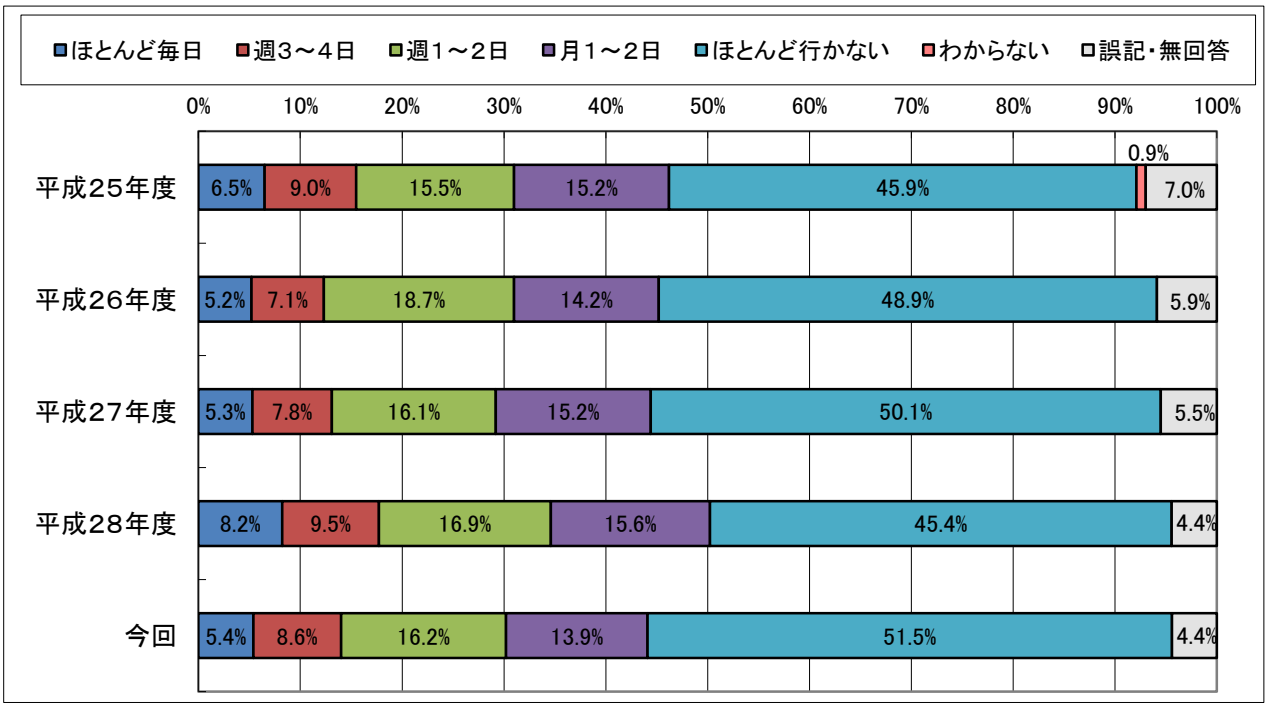
また、「ほとんど行かない」が商店街の51.5%に対し、大型店は4.4%となっています。

＜経年変化＞

【商店街】

平成25年度からの推移を見ると、商店街に買い物に行く頻度の傾向は、大きく変化ありません。

●商店街に買い物に行く頻度（平成25年度からの推移）

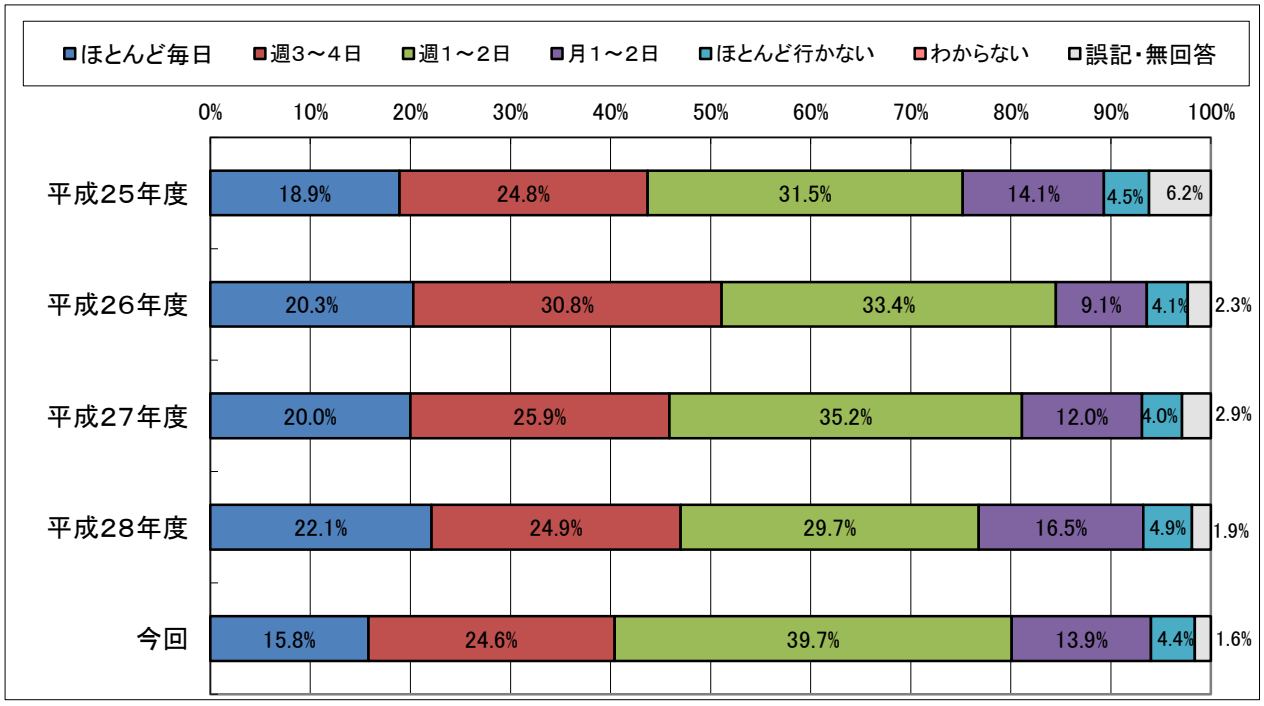


※平成26年度から「わからない」という選択肢を削除しました。

【大型店】

平成25年度からの推移を見ると、大型店に買い物に行く頻度が週1日以上の方がおおむね8割前後となっています。

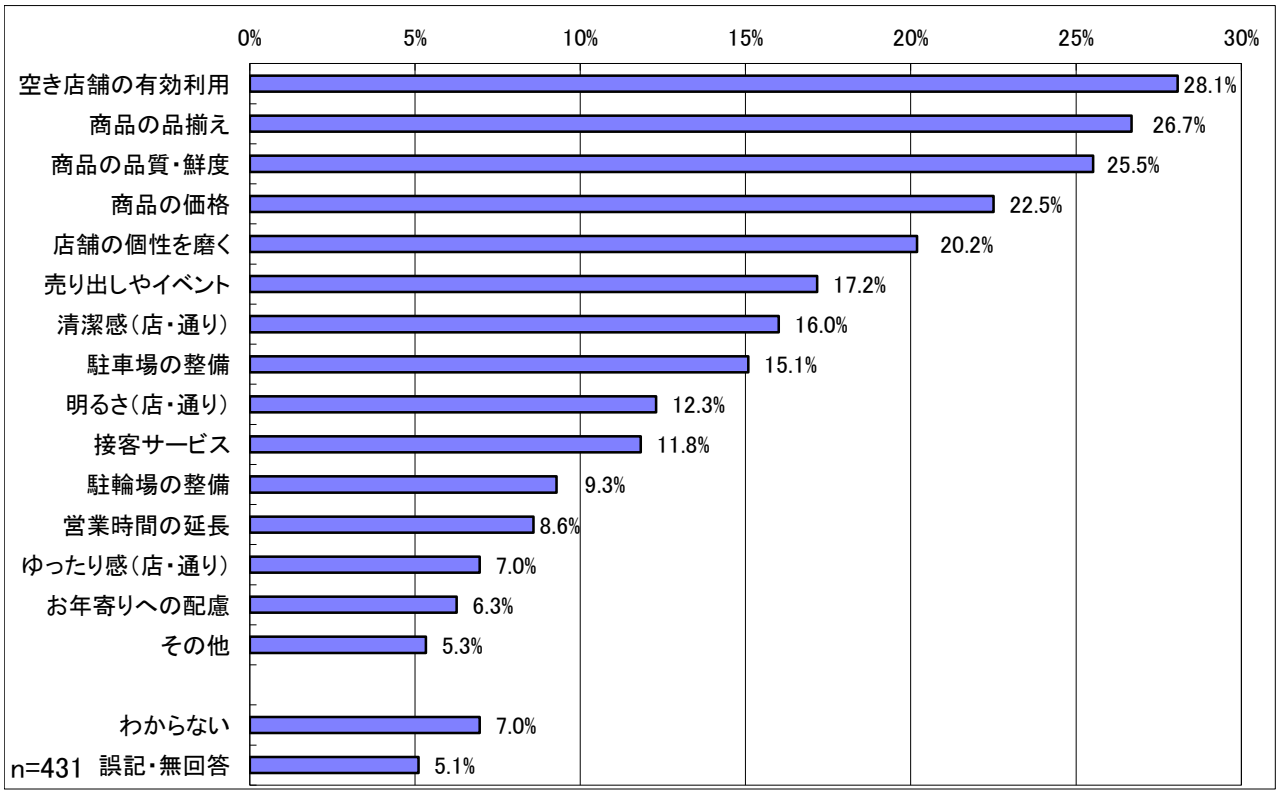
●大型店に買い物に行く頻度（平成25年度からの推移）



※平成26年度から「わからない」という選択肢を削除しました。

問16 商店街の活性化についてお伺いします。あなたが商店街に望むことについて、あてはまるものをお選びください。（○印は3つ以内）

回答対象者：431人	件数	割合	順位
空き店舗の有効利用	121	28.1%	1
商品の品揃え	115	26.7%	2
商品の品質・鮮度	110	25.5%	3
商品の価格	97	22.5%	4
店舗の個性を磨く	87	20.2%	5
売り出しやイベント	74	17.2%	6
清潔感（店・通り）	69	16.0%	7
駐車場の整備	65	15.1%	8
明るさ（店・通り）	53	12.3%	9
接客サービス	51	11.8%	10
駐輪場の整備	40	9.3%	11
営業時間の延長	37	8.6%	12
ゆったり感（店・通り）	30	7.0%	13
お年寄りへの配慮	27	6.3%	14
その他	23	5.3%	―
わからない	30	7.0%	
誤記・無回答	22	5.1%	



商店街に望むことについてたずねたところ、「空き店舗の有効利用」が28.1%と最も多く、次いで「商品の品揃え」が26.7%、「商品の品質・鮮度」が25.5%となっています。

＜経年変化＞

平成25年度からの推移を見ると、これまでは3位から5位に位置していた「空き店舗の有効利用」が昨年度に引き続き1位となっています。2位以下の項目の構成に大きな変化はありません。

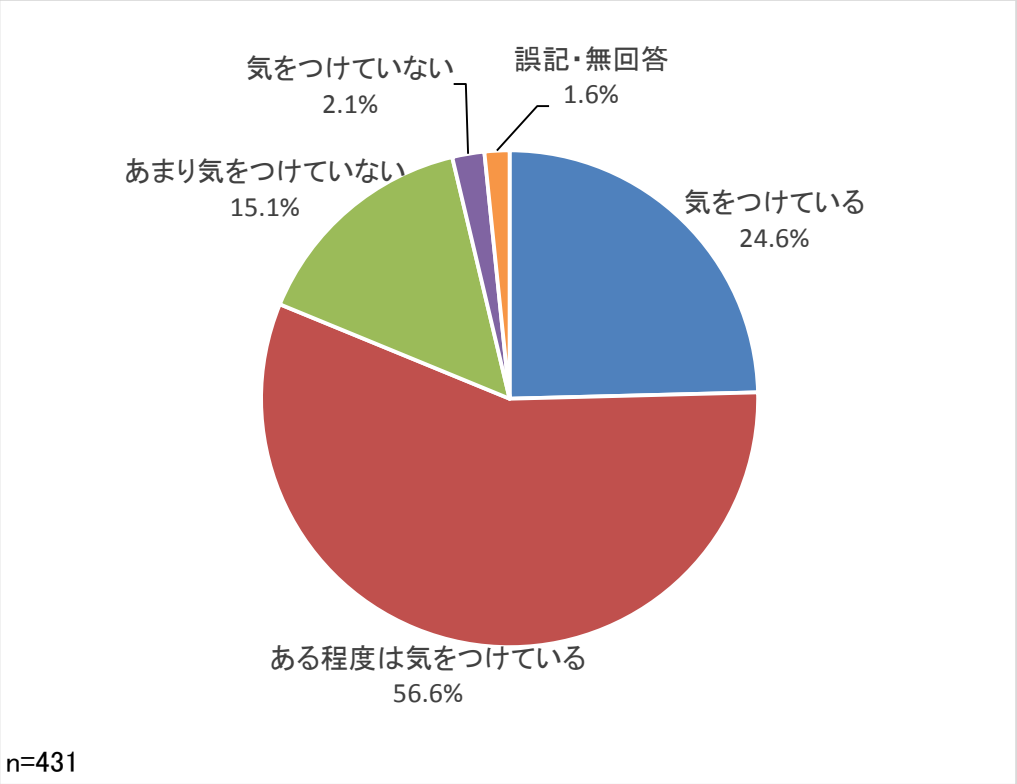
●商店街に望むこと 上位5位（平成25年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成25年度	商品の品質・鮮度 29.9%	商品の品揃え 28.5%	商品の価格 24.5%	空き店舗の有効利用 22.8%	店舗の個性を磨く 21.1%
平成26年度	商品の品質・鮮度 30.1%	商品の品揃え 27.6%	空き店舗の有効利用 26.9%	店舗の個性を磨く 23.5%	商品の価格 21.9%
平成27年度	商品の品揃え 31.5%	商品の価格 25.3%	商品の品質・鮮度 25.1%	空き店舗の有効利用 23.6%	店舗の個性を磨く 22.4%
平成28年度	空き店舗の有効利用 30.4%	商品の品揃え 28.1%	商品の品質・鮮度 27.6%	店舗の個性を磨く 26.6%	商品の価格 21.9%
今回	空き店舗の有効利用 28.1%	商品の品揃え 26.7%	商品の品質・鮮度 25.5%	商品の価格 22.5%	店舗の個性を磨く 20.2%

＜健康づくり、運動・スポーツについて＞

問17　あなたは、日頃、自分の健康に気をつけていますか。（○印は1つ）

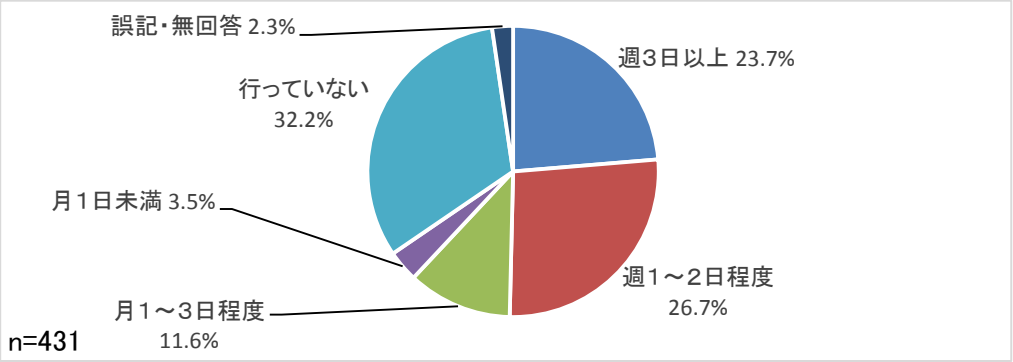
回答対象者：431人	件数	割合	順位
気をつけている	106	24.6%	2
ある程度は気をつけている	244	56.6%	1
あまり気をつけていない	65	15.1%	3
気をつけていない	9	2.1%	4
誤記・無回答	7	1.6%	



自分の健康にどのくらい気をつけているかたずねたところ、「気をつけている」、「ある程度は気をつけている」を合わせると、81.2%の人が日頃から自分の健康に気をつけているという結果になっています。

問18　健康づくりなどに運動・スポーツは非常に大切であるといわれています。あなたは、どのくらいの頻度で運動・スポーツをしていますか。（○印は1つ）

回答対象者：431人	件数	割合	順位
週3日以上	102	23.7%	3
週1～2日程度	115	26.7%	2
月1～3日程度	50	11.6%	4
月1日未満	15	3.5%	5
行っていない	139	32.2%	1
誤記・無回答	10	2.3%	

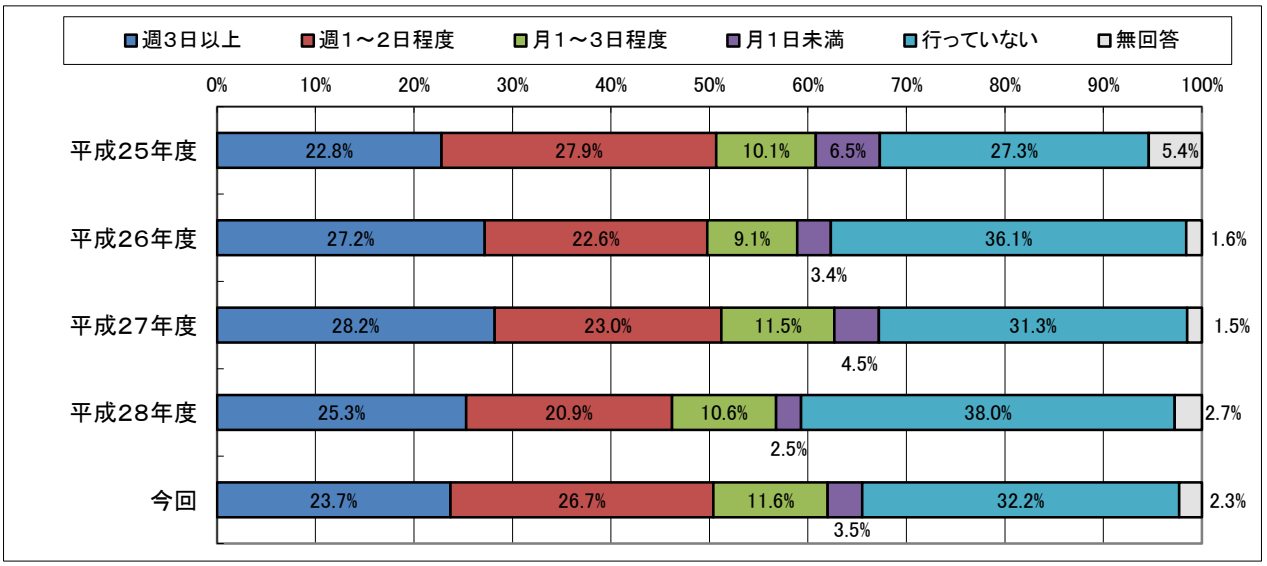


どのくらいの頻度で運動・スポーツをしているかたずねたところ、「週1～2日程度」が26.7%で最も多く、次いで「週3日以上」が23.7%、「月1～3日程度」が11.6%と続いており、半数以上の人が、週1日以上何らかの運動・スポーツをしているという結果になっています。

＜経年変化＞

運動・スポーツをしている頻度について平成25年度からの経年変化を見ると、週1日以上スポーツをしている人の割合は50%前後で推移しています。

●運動・スポーツをしている頻度（平成25年度からの推移）



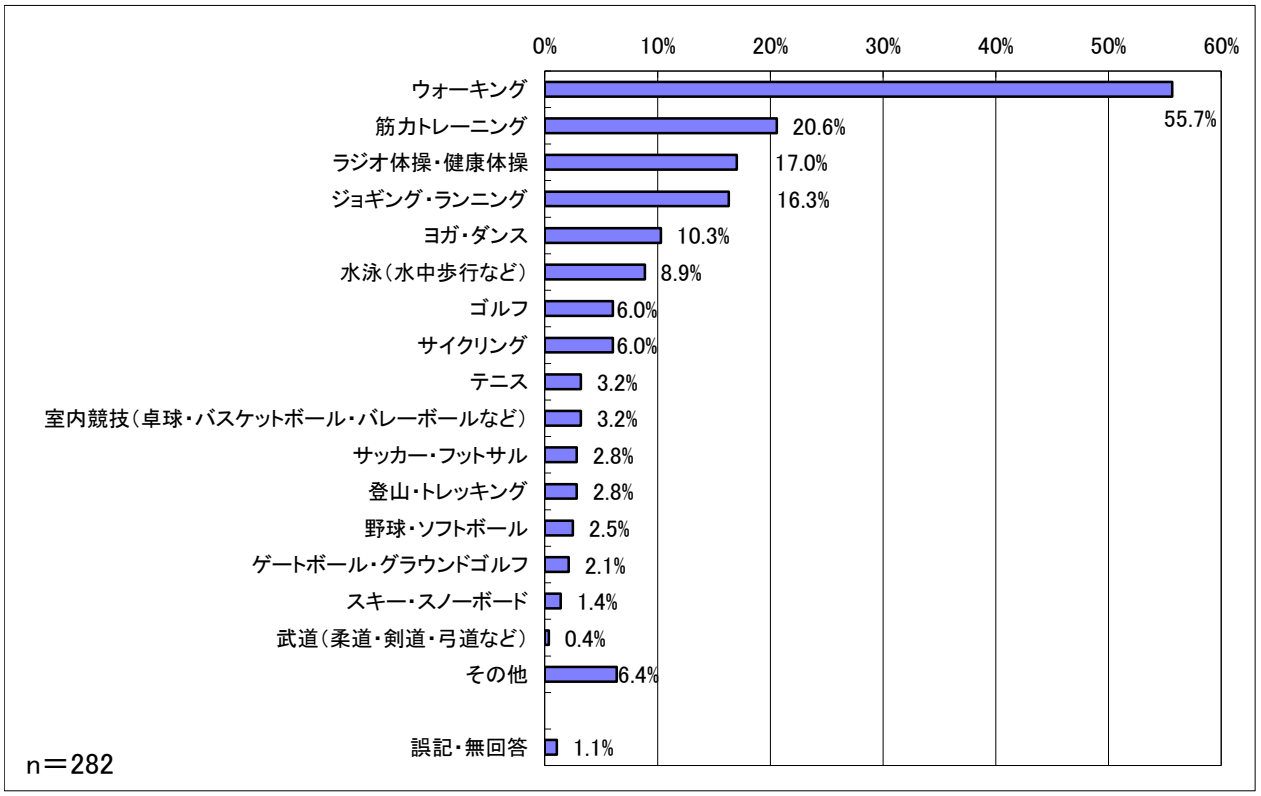
※平成26年度より回答の選択肢を変更したため、平成25年度以前の割合を現在の選択肢に合わせて再集計しました。

～平成25年度	週3回以上	週2回程度	週1回程度	月2回程度	月1回程度	2～3か月に1回程度	年2回程度	年1回程度
平成26年度～	週3日以上	週1～2日程度		月1～3日程度		月1日未満		

問18で「週3日以上」「週1～2日程度」「月1～3日程度」「月1日未満」と答えた人のみ回答

問19　あなたは、主にどのような運動・スポーツをしていますか。（○印は3つ以内）

回答対象者：282人	件数	割合	順位
ウォーキング	157	55.7%	1
筋力トレーニング	58	20.6%	2
ラジオ体操・健康体操	48	17.0%	3
ジョギング・ランニング	46	16.3%	4
ヨガ・ダンス	29	10.3%	5
水泳（水中歩行など）	25	8.9%	6
ゴルフ	17	6.0%	7
サイクリング	17	6.0%	7
テニス	9	3.2%	9
室内競技（卓球・バスケットボール・バレーボールなど）	9	3.2%	9
サッカー・フットサル	8	2.8%	11
登山・トレッキング	8	2.8%	11
野球・ソフトボール	7	2.5%	13
ゲートボール・グラウンドゴルフ	6	2.1%	14
スキー・スノーボード	4	1.4%	15
武道（柔道・剣道・弓道など）	1	0.4%	16
その他	18	6.4%	―
誤記・無回答	3	1.1%	



最も行われている運動・スポーツは「ウォーキング」で55.7%、次いで「筋力トレーニング」が20.6%、「ラジオ体操・健康体操」が17.0%となっています。

＜経年変化＞

平成25年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はありませんが、設問を変更した平成26年度から「ウォーキング」の割合が5割を超えています。

●どのような運動・スポーツをしているか 上位5位（平成25年度からの推移）

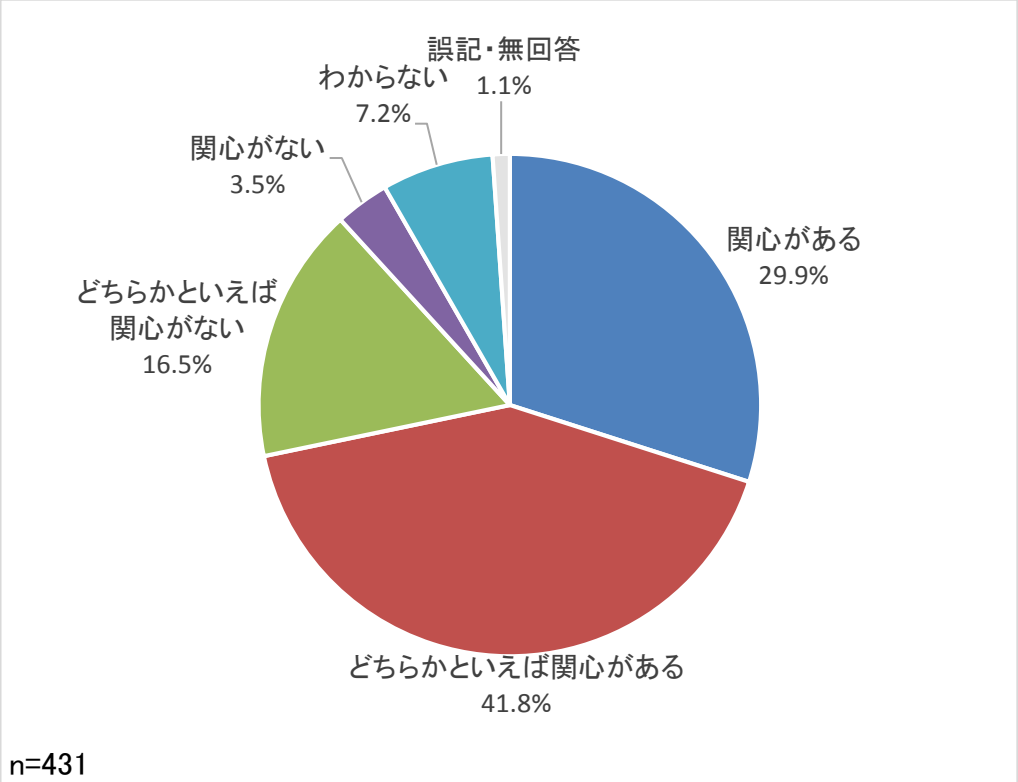
	1位	2位	3位	4位	5位
平成25年度	ウォーキング 45.7%	体操（軽体操・エアロビなど） 18.8%	ジョギング・ランニング 15.1%	筋力トレーニング 14.7%	サイクリング 12.2%
平成26年度	ウォーキング 57.1%	ラジオ体操・健康体操 23.8%	筋力トレーニング 17.9%	ジョギング・ランニング 15.4%	ヨガ・ダンス 9.9%
平成27年度	ウォーキング 53.4%	ラジオ体操・健康体操 25.4%	筋力トレーニング 18.6%	ジョギング・ランニング 14.7%	ヨガ・ダンス 10.0%
平成28年度	ウォーキング 55.2%	ラジオ体操・健康体操 21.0%	筋力トレーニング 17.8%	ジョギング・ランニング 12.8%	ヨガ・ダンス 11.0%
今回	ウォーキング 55.7%	筋力トレーニング 20.6%	ラジオ体操・健康体操 17.0%	ジョギング・ランニング 16.3%	ヨガ・ダンス 10.3%

※回答項目の修正をしている箇所があるため同じ選択項目になっていません。
※平成25年度までは、運動・スポーツをしていない人を含めた回答者全体を分母としていましたが、平成26年度より、設問の対象を運動・スポーツをしている人のみに変更したため、平成25年度以前の割合を運動・スポーツをしていると回答した人だけを分母とする割合に再計算しました。

＜ごみの減量化について＞

問20　ごみの減量化やリサイクルについて関心がありますか。（○印は1つ）

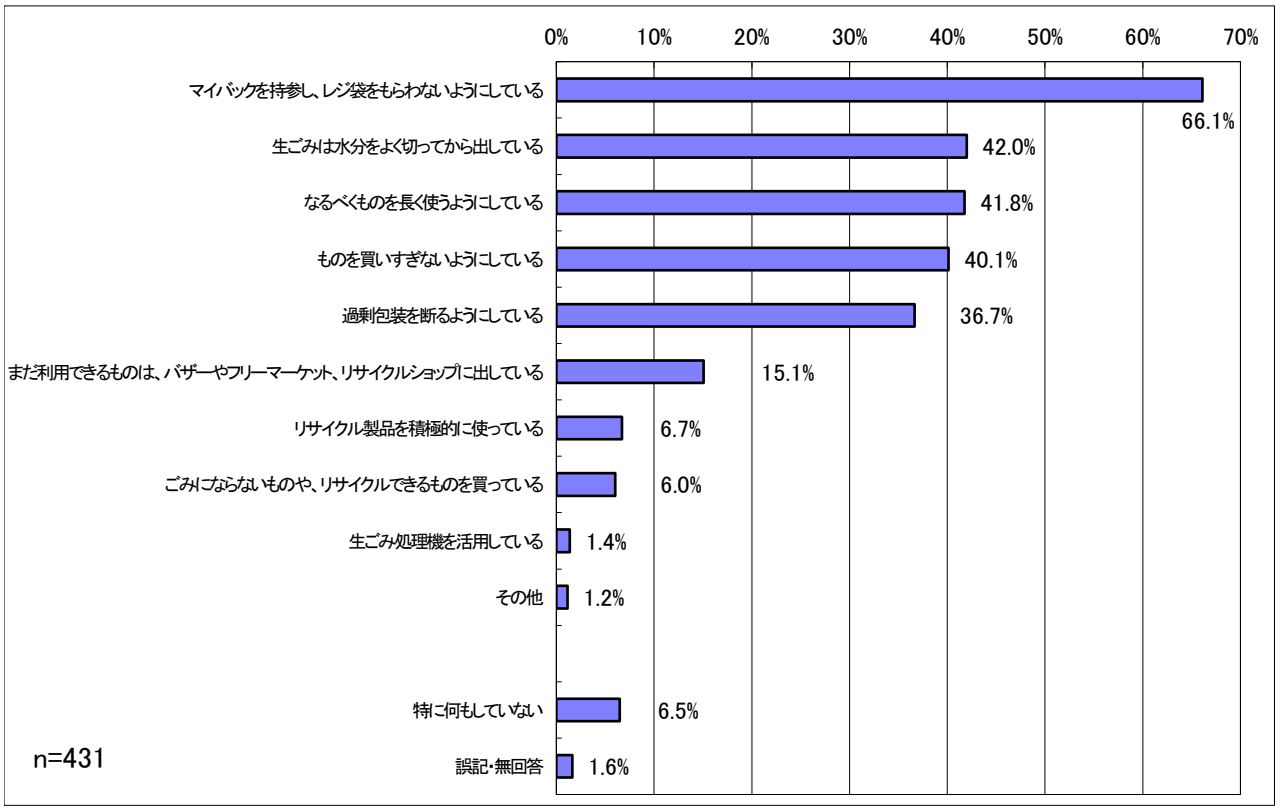
回答対象者：431人	件数	割合	順位
関心がある	129	29.9%	2
どちらかといえば関心がある	180	41.8%	1
どちらかといえば関心がない	71	16.5%	3
関心がない	15	3.5%	5
わからない	31	7.2%	4
誤記・無回答	5	1.1%	



ごみの減量やリサイクルについて関心があるかたずねたところ、「関心がある」29.9%、「どちらかといえば関心がある」41.8%を合わせると71.7%となり、およそ7割の方がごみの減量化やリサイクルについて関心があると回答しています。

問21　ごみを減らすために、どのような取り組みをしていますか。（○印はいくつでも）

回答対象者：431人	件数	割合	順位
マイバックを持参し、レジ袋をもらわないようにしている	285	66.1%	1
生ごみは水分をよく切ってから出している	181	42.0%	2
なるべくものを長く使うようにしている	180	41.8%	3
ものを買いすぎないようにしている	173	40.1%	4
過剰包装を断るようにしている	158	36.7%	5
まだ利用できるものは、バザーやフリーマーケット、リサイクルショップに出している	65	15.1%	6
リサイクル製品を積極的に使っている	29	6.7%	7
ごみにならないものや、リサイクルできるものを買っている	26	6.0%	8
生ごみ処理機を活用している	6	1.4%	9
その他	5	1.2%	－
特に何もしていない	28	6.5%	－
誤記・無回答	7	1.6%	



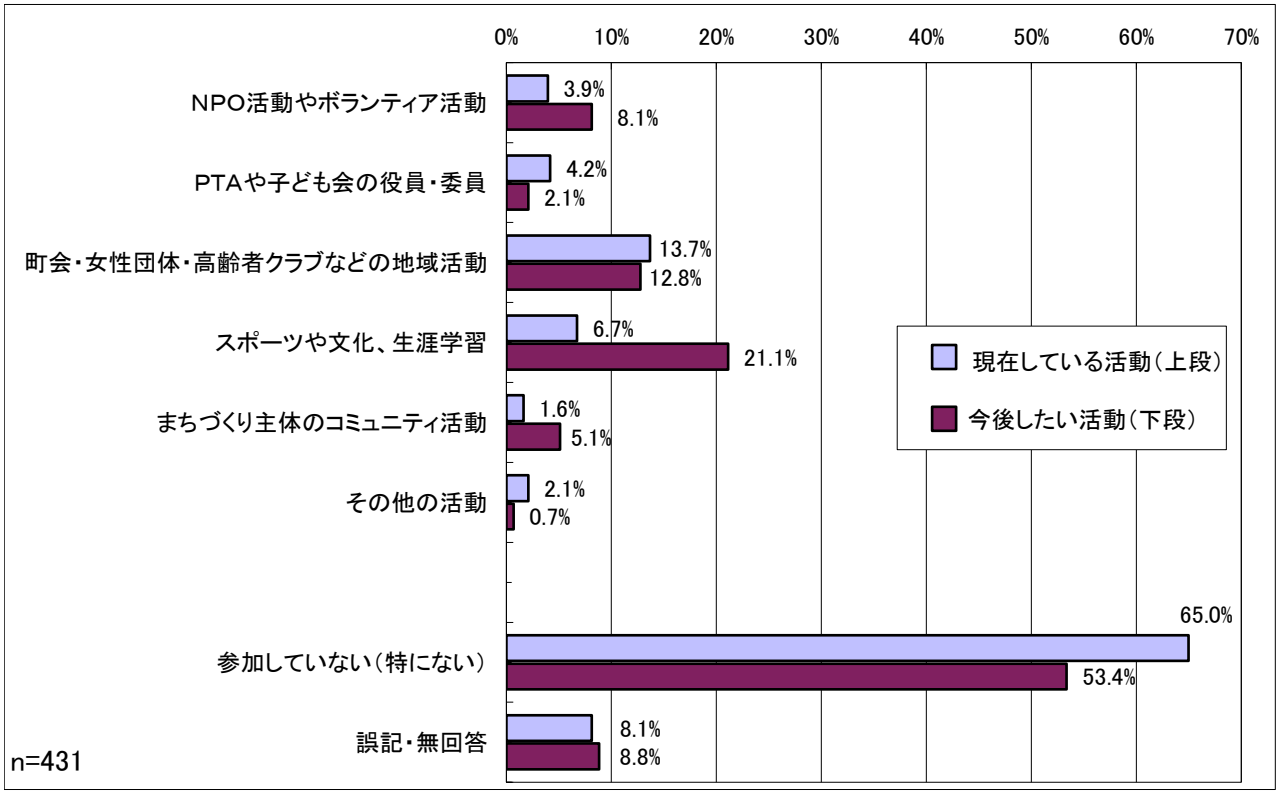
ごみを減らすためどのような取り組みをしているかたずねたところ、「マイバックを持参し、レジ袋をもらわないようにしている」が最も多く66.1%、次いで「生ごみは水分をよく切ってから出している」が42.0%、「なるべくものを長く使うようにしている」が41.8%となっています。

また、およそ9割の人が、ごみを減らすための何らかの取り組みを行っていると回答しています。

＜市民活動について＞

問22	あなたは現在、お住まいの地域等で何か活動をしていますか。また、今後したいと思う活動は何ですか。それぞれあてはまるものをお選びください。 （○印はそれぞれいくつでも）

	現在している活動			今後したい活動		
回答対象者：431人	件数	割合	順位	件数	割合	順位
NPO活動やボランティア活動	17	3.9%	4	35	8.1%	3
PTAや子ども会の役員・委員	18	4.2%	3	9	2.1%	5
町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動	59	13.7%	1	55	12.8%	2
スポーツや文化、生涯学習	29	6.7%	2	91	21.1%	1
まちづくり主体のコミュニティ活動	7	1.6%	5	22	5.1%	4
その他の活動	9	2.1%	―	3	0.7%	―
参加していない（特にない）	280	65.0%		230	53.4%	
誤記・無回答	35	8.1%		38	8.8%	



現在している市民活動と今後したい市民活動についてたずねたところ、現在している活動としては、「町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動」が13.7%で最も多く、次いで「スポーツや文化、生涯学習」の6.7%となっています。

一方、今後したい活動としては、「スポーツや文化、生涯学習」の21.1%が最も多く、次いで、「町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動」の12.8%となっています。

＜経年変化＞

【現在の状況】

平成25年度からの推移を見ると、「参加していない」の割合をみると、全体的に市民活動に参加している人は増加している傾向が伺えます。

●現在している市民活動 上位5位（平成25年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位	参加していない
平成25年度	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 13.2%	スポーツや文化、学習活動 10.1%	NPO活動やボランティア活動 5.6%	PTAの役員・委員 3.1%	まちづくり主体のコミュニティ活動 2.8%	64.5%
平成26年度	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 10.0%	スポーツや文化、学習活動 8.2%	NPO活動やボランティア活動 5.0%	PTAや子ども会の役員・委員 2.7%	まちづくり主体のコミュニティ活動 2.1%	70.3%
平成27年度	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 12.6%	スポーツや文化、生涯学習 8.9%	NPO活動やボランティア活動 6.5%	PTAや子ども会の役員・委員 4.1%	まちづくり主体のコミュニティ活動 2.6%	65.8%
平成28年度	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 12.2%	スポーツや文化、生涯学習 11.0%	NPO活動やボランティア活動 5.1%	PTAや子ども会の役員・委員 3.8%	まちづくり主体のコミュニティ活動 2.7%	63.9%
今回	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 13.7%	スポーツや文化、生涯学習 6.7%	PTAや子ども会の役員・委員 4.2%	NPO活動やボランティア活動 3.9%	まちづくり主体のコミュニティ活動 1.6%	65.0%

※「その他」・「無回答」は除く

※平成26年度より一部選択肢の表現を見直し

【今後の意向】

平成25年度からの推移を見ると、2位～4位の順位に変動はありますが、各項目の割合は概ね同様の傾向が続いています。

●今後したいと思う市民活動 上位5位（平成25年度からの推移）

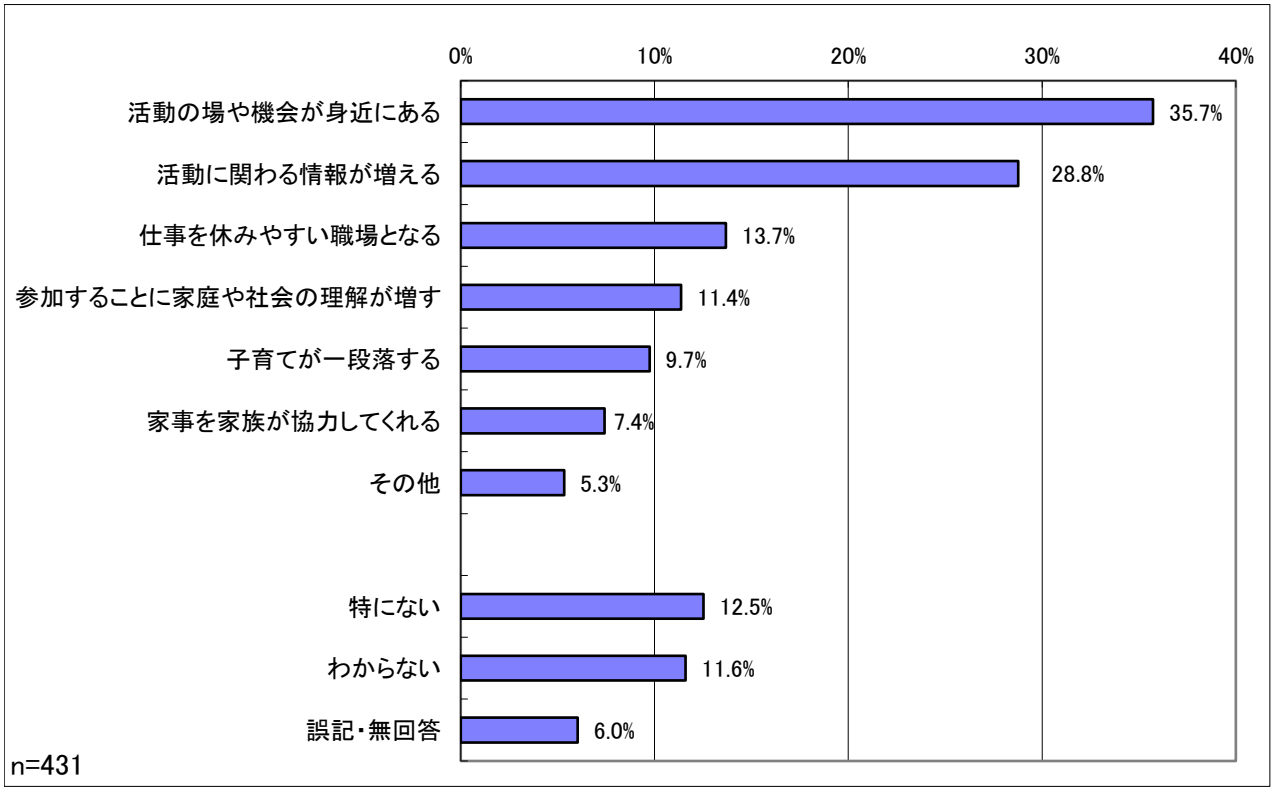
	1位	2位	3位	4位	5位	特にない
平成25年度	スポーツや文化、学習活動 18.3%	NPO活動やボランティア活動 10.4%	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動／まちづくり主体のコミュニティ活動 8.5%		PTAの役員・委員 1.7%	52.1%
平成26年度	スポーツや文化、生涯学習 20.3%	NPO活動やボランティア活動 12.3%	まちづくり主体のコミュニティ活動 9.4%	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 8.0%	PTAや子ども会の役員・委員 2.1%	52.3%
平成27年度	スポーツや文化、生涯学習 20.4%	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 7.4%	NPO活動やボランティア活動 6.9%	まちづくり主体のコミュニティ活動 5.9%	PTAや子ども会の役員・委員 1.8%	53.4%
平成28年度	スポーツや文化、生涯学習 22.2%	NPO活動やボランティア活動 10.8%	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 8.9%	まちづくり主体のコミュニティ活動 7.4%	PTAや子ども会の役員・委員 1.7%	53.0%
今回	スポーツや文化、生涯学習 21.1%	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 12.8%	NPO活動やボランティア活動 8.1%	まちづくり主体のコミュニティ活動 5.1%	PTAや子ども会の役員・委員 2.1%	53.4%

※「その他」・「無回答」は除く

※平成26年度より一部選択肢の表現を見直し

問23 上記のような活動に参加しやすくするためには、どのような環境が必要だと思いますか。（○印は2つ以内）

回答対象者：431人	件数	割合	順位
活動の場や機会が身近にある	154	35.7%	1
活動に関わる情報が増える	124	28.8%	2
仕事を休みやすい職場となる	59	13.7%	3
参加することに家庭や社会の理解が増す	49	11.4%	4
子育てが一段落する	42	9.7%	5
家事を家族が協力してくれる	32	7.4%	6
その他	23	5.3%	―
特にない	54	12.5%	
わからない	50	11.6%	
誤記・無回答	26	6.0%	



市民活動に参加しやすい環境についてたずねたところ、最も多かったのが「活動の場や機会が身近にある」の35.7%、次いで「活動に関わる情報が増える」の28.8%、「仕事を休みやすい職場となる」の13.7%となっています。

＜経年変化＞

平成25年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はなく、1位の「活動の場や機会が身近にある」が30％を超えています。

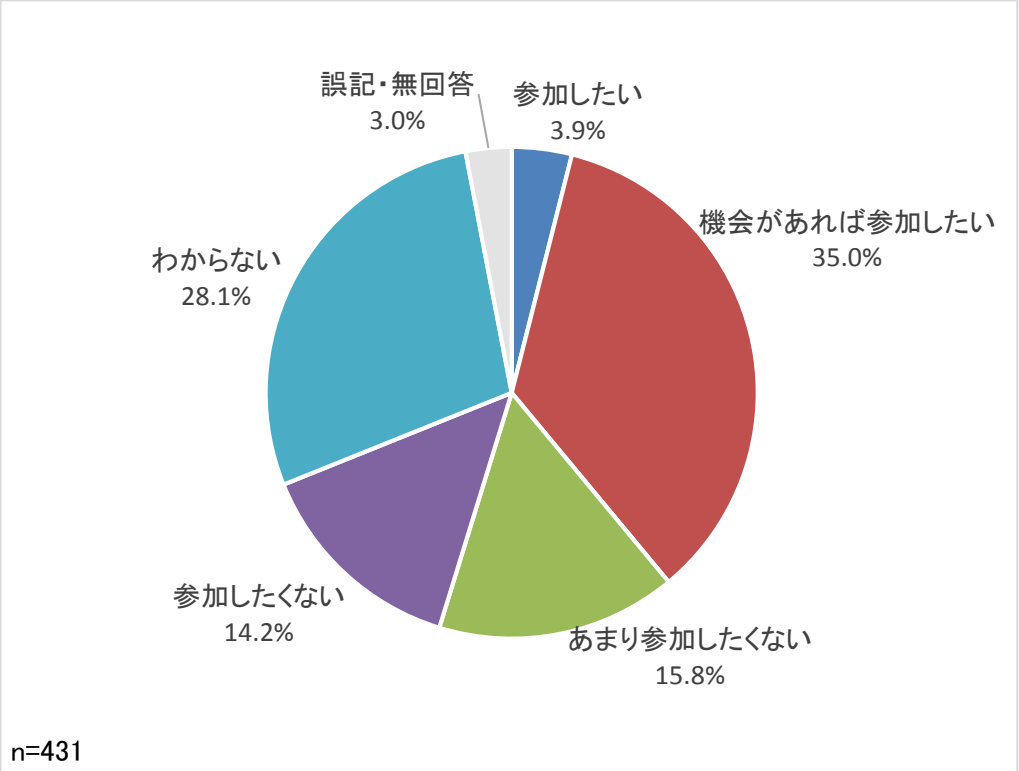
●市民活動に参加しやすくなる環境 上位5位（平成25年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成25年度	活動の場や機会が身近にある 31.5%	活動に関わる情報が増える 27.6%	仕事を休みやすい職場となる 14.4%	参加することに家庭や社会の理解が増す 13.2%	子育てが一段落する 11.3%
平成26年度	活動の場や機会が身近にある 38.8%	活動に関わる情報が増える 25.8%	参加することに家庭や社会の理解が増す 15.5%	仕事を休みやすい職場となる 11.0%	子育てが一段落する 10.5%
平成27年度	活動の場や機会が身近にある 32.6%	活動に関わる情報が増える 23.8%	参加することに家庭や社会の理解が増す 13.1%	仕事を休みやすい職場となる 子育てが一段落する 12.2%	
平成28年度	活動の場や機会が身近にある 32.1%	活動に関わる情報が増える 23.8%	仕事を休みやすい職場となる 15.4%	参加することに家庭や社会の理解が増す 13.7%	子育てが一段落する 10.5%
今回	活動の場や機会が身近にある 35.7%	活動に関わる情報が増える 28.8%	仕事を休みやすい職場となる 13.7%	参加することに家庭や社会の理解が増す 11.4%	子育てが一段落する 9.7%

＜市民参加について＞

問24　あなたは、市政の計画づくりやまちづくりに参加したいと思いますか。（○印は1つ）

回答対象者：431人	件数	割合	順位
参加したい	17	3.9%	5
機会があれば参加したい	151	35.0%	1
あまり参加したくない	68	15.8%	3
参加したくない	61	14.2%	4
わからない	121	28.1%	2
誤記・無回答	13	3.0%	

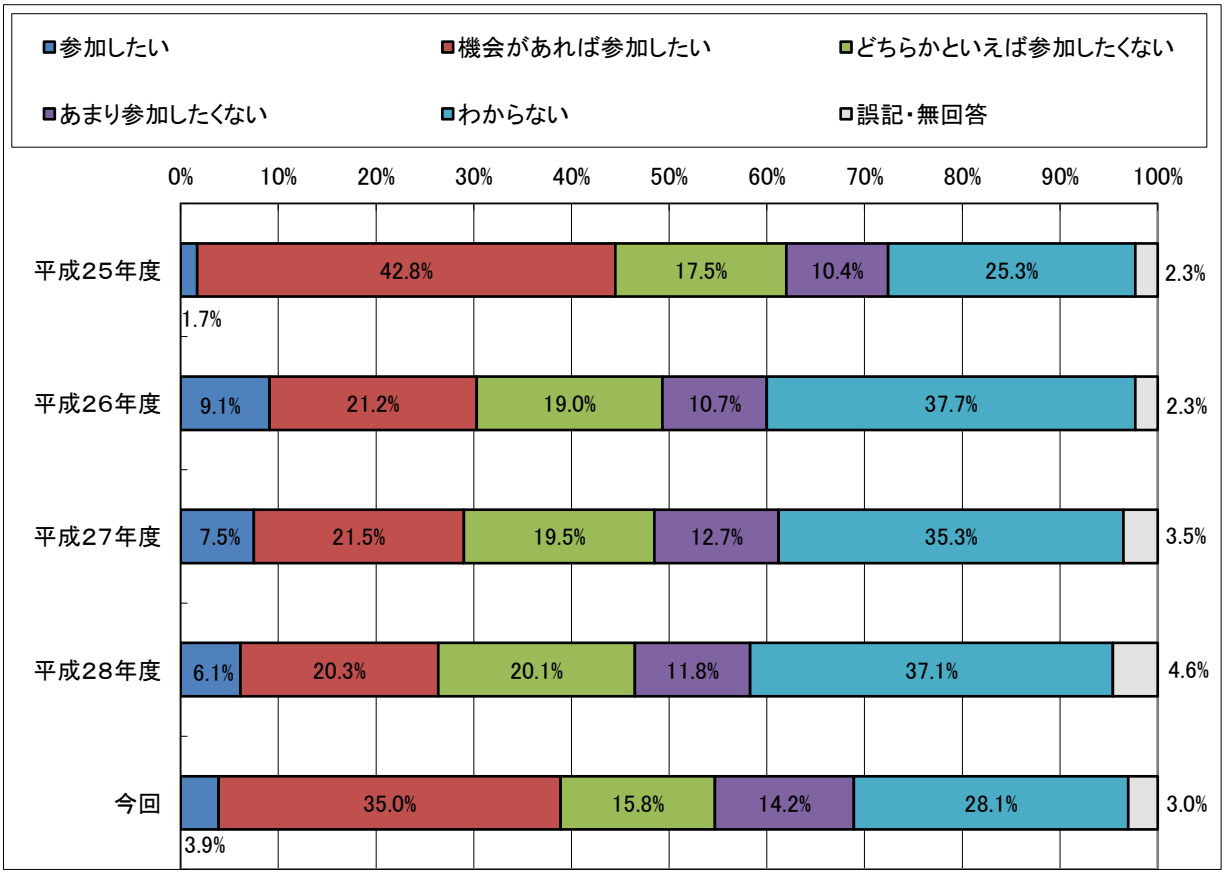


市政の計画づくりやまちづくりへの市民参加については、「参加したい」が3.9%、「機会があれば参加したい」が35.0%となっており、これらを合わせた38.9%の人が参加を望んでいることがわかります。このことから、市民参加の機会を拡充するなど行政の積極的な働きかけにより、市民参加が今以上に進む可能性が伺えます。

＜経年変化＞

近年の数値と比較すると「参加したい」と「機会があれば参加したい」を合わせた市民活動に参加意向を持つ人の割合が大きく上昇しました。

●市政の計画づくりやまちづくりへの参加について（平成25年度からの推移）



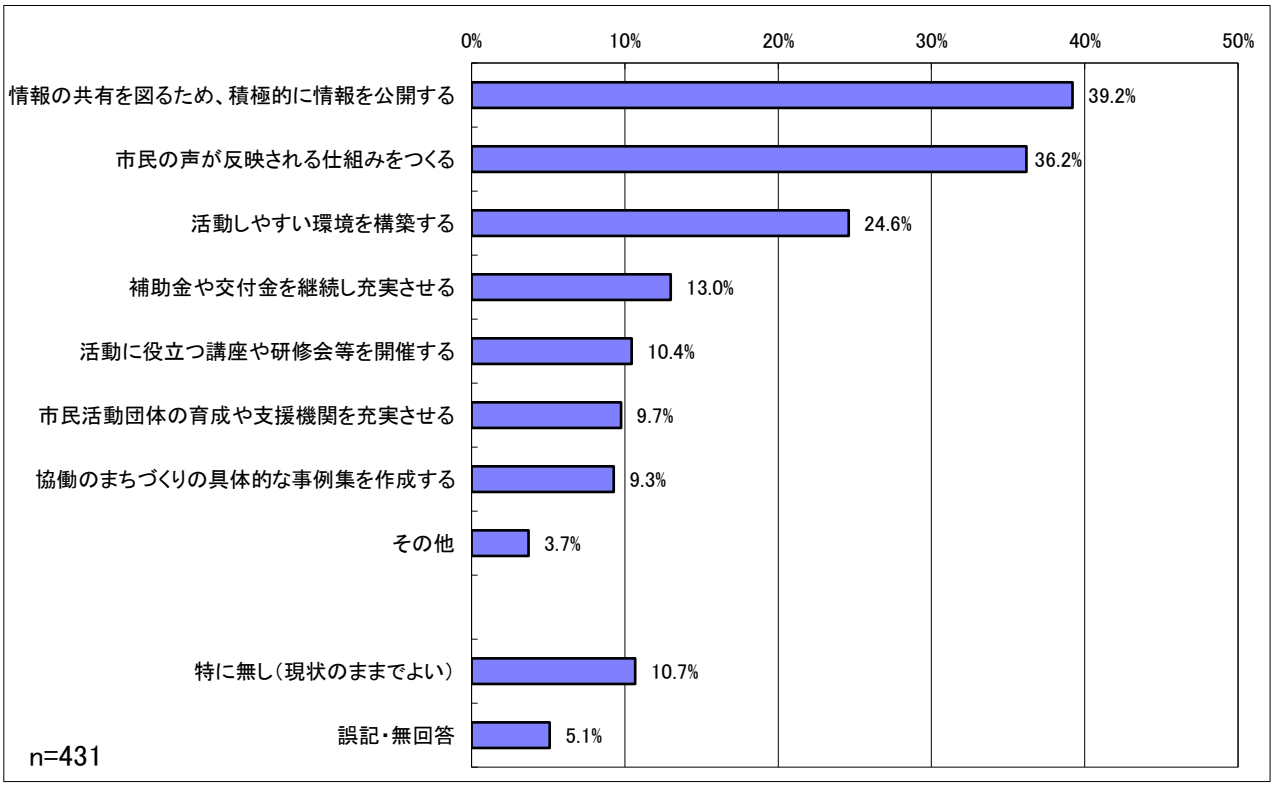
※平成26年度から一部選択肢の表現を見直し

※平成29年度から一部選択肢の表現を見直し

＜協働のまちづくりについて＞

問25	市民との協働によるまちづくりを進めるために、行政はどのような取り組みを充実・改善すべきだと思いますか。（○印は2つ以内）

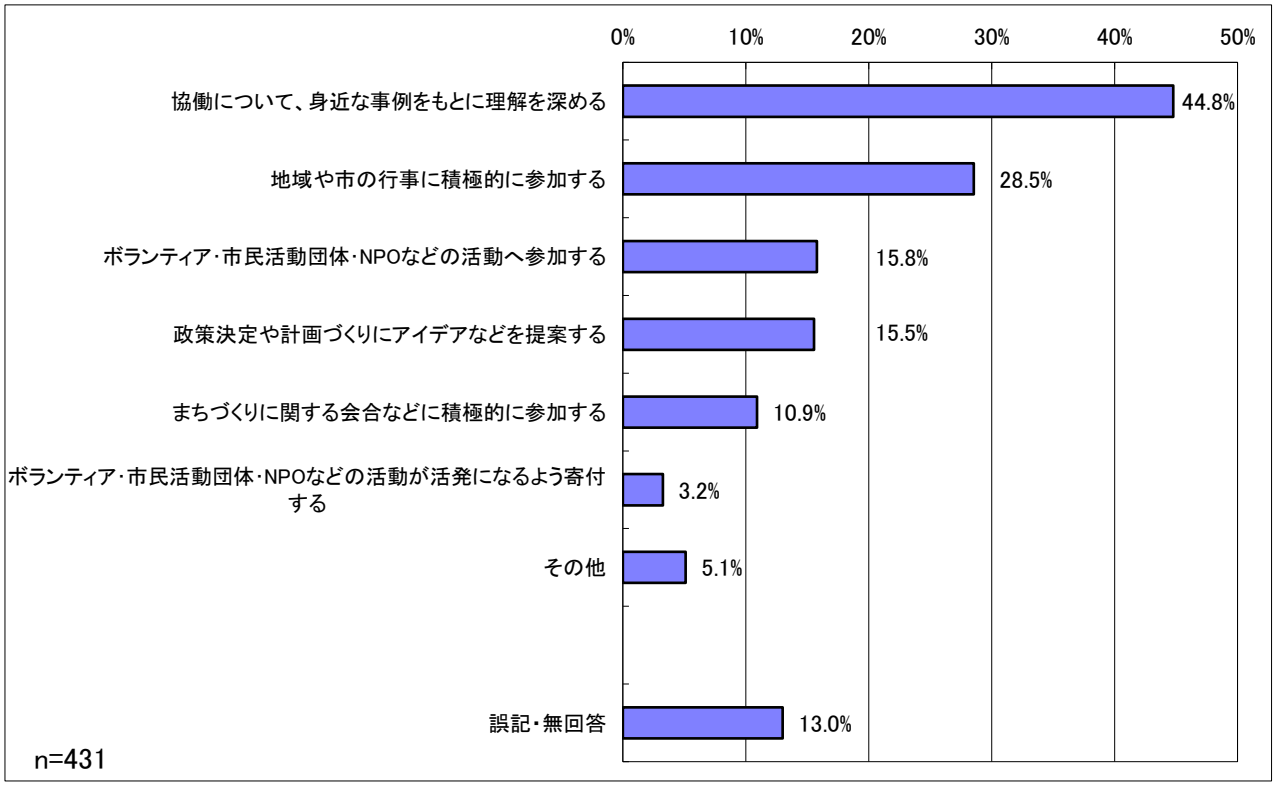
回答対象者：431人	件数	割合	順位
情報の共有を図るため、積極的に情報を公開する	169	39.2%	1
市民の声が反映される仕組みをつくる	156	36.2%	2
活動しやすい環境を構築する	106	24.6%	3
補助金や交付金を継続し充実させる	56	13.0%	4
活動に役立つ講座や研修会等を開催する	45	10.4%	5
市民活動団体の育成や支援機関を充実させる	42	9.7%	6
協働のまちづくりの具体的な事例集を作成する	40	9.3%	7
その他	16	3.7%	－
特に無し（現状のままでよい）	46	10.7%	－
誤記・無回答	22	5.1%	



市民との協働によるまちづくりを進めるために、行政はどのような取り組みを充実・改善すべきかたずねたところ、「情報の共有を図るため、積極的に情報を公開する」が39.2%、次いで「市民の声が反映される仕組みをつくる」が36.2%、「活動しやすい環境を構築する」が24.6%と続いています。

問26 協働によるまちづくりを進めるには、あなたは何をすればよいと思いますか。（○印は2つ以内）

回答対象者：431人	件数	割合	順位
協働について、身近な事例をもとに理解を深める	193	44.8%	1
地域や市の行事に積極的に参加する	123	28.5%	2
ボランティア・市民活動団体・NPOなどの活動へ参加する	68	15.8%	3
政策決定や計画づくりにアイデアなどを提案する	67	15.5%	4
まちづくりに関する会合などに積極的に参加する	47	10.9%	5
ボランティア・市民活動団体・NPOなどの活動が活発になるよう寄付する	14	3.2%	6
その他	22	5.1%	－
誤記・無回答	56	13.0%	



市民との協働によるまちづくりを進めるために、何をすればよいかたずねたところ、「協働について、身近な事例をもとに理解を深める」が44.8%、次いで「地域や市の行事に積極的に参加する」が28.5%、「ボランティア・市民活動団体・NPOなどの活動へ参加する」が15.8%、「政策決定や計画づくりにアイデアなどを提案する」が15.5%と続いています。

● **重点施策（重要度）**　※項目は、「コンパクトシティ蕨」将来ビジョン実現計画の柱に沿って掲載しています

問28	あなたにとって、次に示す市の施策の重要度・満足度はどのくらいですか。1～３６の各項目について、あなたの気持ちに近いものをそれぞれ１つずつお選びください

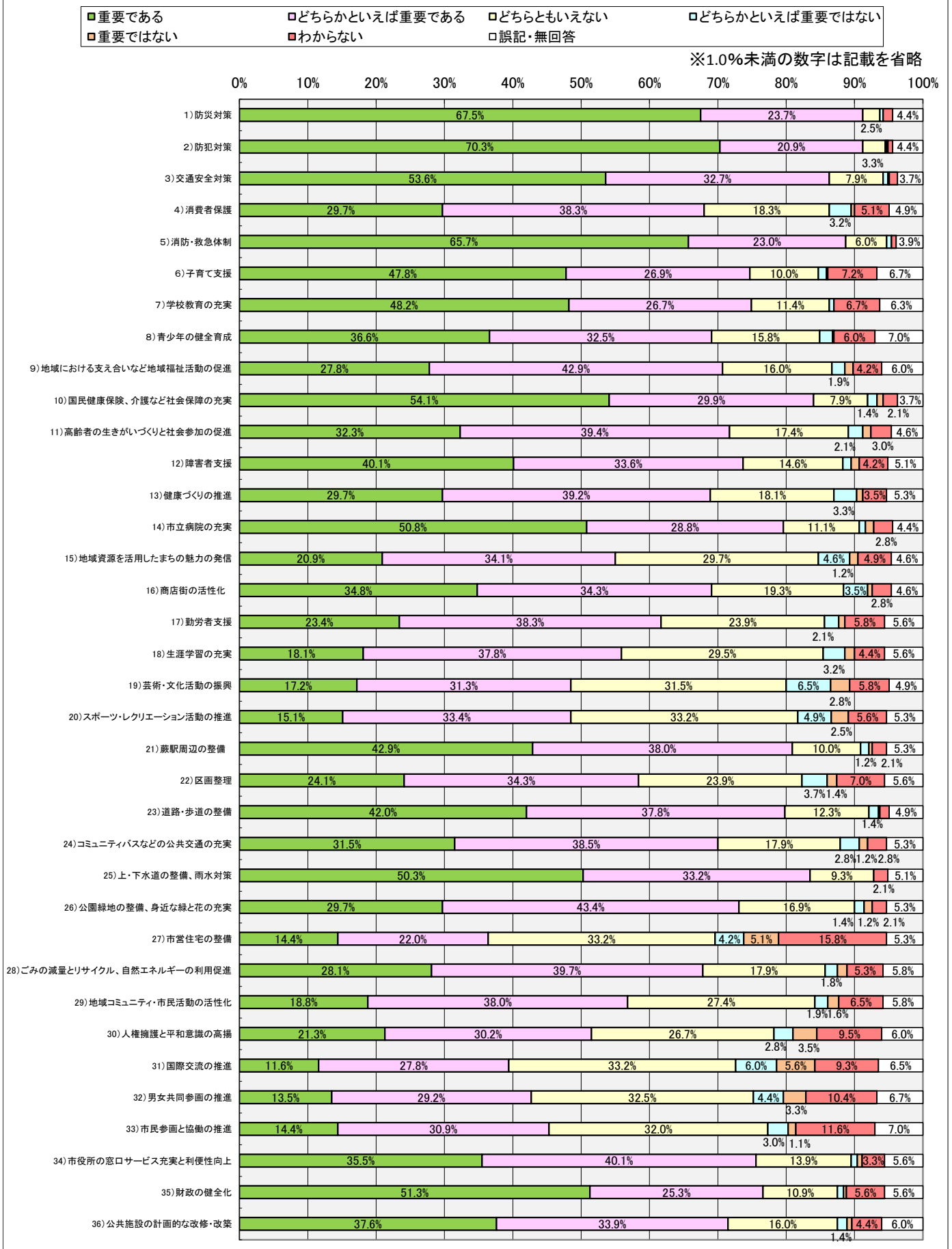
１：重要である　２：どちらかといえば重要である　３：どちらともいえない
４：どちかといえば重要ではない　５：重要ではない　６：わからない

（件）

	1	2	3	4	5	6	誤記・無回答	平均値	
【安全で安心して暮らせるまち】									（ ）内は昨年の順位
１）防災対策	291	102	11	2	0	6	19	4.68	2(1)
２）防犯対策	303	90	14	1	1	3	19	4.69	1(2)
３）交通安全対策	231	141	34	3	1	5	16	4.46	4(5)
４）消費者保護	128	165	79	14	2	22	21	4.04	22(22)
５）消防・救急体制	283	99	26	3	0	3	17	4.61	3(3)
【豊かな個性を育み子供たちの未来輝くまち】									
６）子育て支援	206	116	43	5	1	31	29	4.40	9(8)
７）学校教育の充実	208	115	49	3	0	29	27	4.41	8(6)
８）青少年の健全育成	158	140	68	8	1	26	30	4.19	15(11)
【みんなにあたたかく健康に生活できるまち】									
９）地域における支え合いなど地域福祉活動の促進	120	185	69	8	5	18	26	4.05	20(21)
10）国民健康保険、介護など社会保障の充実	233	129	34	6	4	9	16	4.43	6(4)
11）高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進	139	170	75	9	5	13	20	4.08	17(19)
12）障害者支援	173	145	63	5	5	18	22	4.22	13(13)
13）健康づくりの推進	128	169	78	14	4	15	23	4.03	24(18)
14）市立病院の充実	219	124	48	4	5	12	19	4.37	10(10)
【にぎわいと活力、市民文化と歴史がとけあう元気なまち】									
15）地域資源を活用したまちの魅力の発信	90	147	128	20	5	21	20	3.76	28(27)
16）商店街の活性化	150	148	83	15	3	12	20	4.07	18(23)
17）勤労者支援	101	165	103	9	4	25	24	3.92	25(25)
18）生涯学習の充実	78	163	127	14	6	19	24	3.76	29(28)
19）芸術・文化活動の振興	74	135	136	28	12	25	21	3.60	33(33)
20）スポーツ・レクリエーション活動の推進	65	144	143	21	11	24	23	3.60	32(31)
【快適で過ごしやすく環境にやさしいまち】									
21）蕨駅周辺の整備	185	164	43	5	2	9	23	4.32	11(14)
22）区画整理	104	148	103	16	6	30	24	3.87	26(26)
23）道路・歩道の整備	181	163	53	6	1	6	21	4.28	12(12)
24）コミュニティバスなどの公共交通の充実	136	166	77	12	5	12	23	4.05	21(24)
25）上・下水道の整備、雨水対策	217	143	40	0	0	9	22	4.44	5(7)
26）公園緑地の整備、身近な緑と花の充実	128	187	73	6	5	9	23	4.07	18(20)
27）市営住宅の整備	62	95	143	18	22	68	23	3.46	35(35)
28）ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進	121	171	77	8	6	23	25	4.03	23(17)
【一人ひとりの心でつなぐ笑顔あふれるまち】									
29）地域コミュニティ・市民活動の活性化	81	164	118	8	7	28	25	3.80	27(28)
30）人権擁護と平和意識の高揚	92	130	115	12	15	41	26	3.75	30(30)
31）国際交流の推進	50	120	143	26	24	40	28	3.40	36(36)
32）男女共同参画の推進	58	126	140	19	14	45	29	3.55	34(34)
【その他】									
33）市民参画と協働の推進	62	133	138	13	5	50	30	3.67	31(32)
34）市役所の窓口サービス充実と利便性向上	153	173	60	4	3	14	24	4.19	14(16)
35）財政の健全化	221	109	47	4	2	24	24	4.42	7(9)
36）公共施設の計画的な改修・改築	162	146	69	6	3	19	26	4.19	16(15)

施策重要度平均	4.08

施策重要度　回答別割合


■重要である
■どちらかといえば重要である
■どちらともいえない
■どちらかといえば重要ではない
■重要ではない
■わからない
□誤記・無回答
※1.0%未満の数字は記載を省略
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
1)防災対策 67.5% 23.7% 2.5% 4.4%
2)防犯対策 70.3% 20.9% 3.3% 4.4%
3)交通安全対策 53.6% 32.7% 7.9% 3.7%
4)消費者保護 29.7% 38.3% 18.3% 3.2% 5.1% 4.9%
5)消防・救急体制 65.7% 23.0% 6.0% 3.9%
6)子育て支援 47.8% 26.9% 10.0% 7.2% 6.7%
7)学校教育の充実 48.2% 26.7% 11.4% 6.7% 6.3%
8)青少年の健全育成 36.6% 32.5% 15.8% 6.0% 7.0%
9)地域における支え合いなど地域福祉活動の促進 27.8% 42.9% 16.0% 1.9% 4.2% 6.0%
10)国民健康保険、介護など社会保障の充実 54.1% 29.9% 7.9% 1.4% 2.1% 3.7%
11)高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進 32.3% 39.4% 17.4% 2.1% 3.0% 4.6%
12)障害者支援 40.1% 33.6% 14.6% 4.2% 5.1%
13)健康づくりの推進 29.7% 39.2% 18.1% 3.3% 3.5% 5.3%
14)市立病院の充実 50.8% 28.8% 11.1% 2.8% 4.4%
15)地域資源を活用したまちの魅力の発信 20.9% 34.1% 29.7% 1.2% 4.6% 4.9% 4.6%
16)商店街の活性化 34.8% 34.3% 19.3% 3.5% 2.8% 4.6%
17)勤労者支援 23.4% 38.3% 23.9% 2.1% 5.8% 5.6%
18)生涯学習の充実 18.1% 37.8% 29.5% 3.2% 4.4% 5.6%
19)芸術・文化活動の振興 17.2% 31.3% 31.5% 6.5% 2.8% 5.8% 4.9%
20)スポーツ・レクリエーション活動の推進 15.1% 33.4% 33.2% 4.9% 2.5% 5.6% 5.3%
21)藪駅周辺の整備 42.9% 38.0% 10.0% 1.2% 2.1% 5.3%
22)区画整理 24.1% 34.3% 23.9% 3.7% 1.4% 7.0% 5.6%
23)道路・歩道の整備 42.0% 37.8% 12.3% 1.4% 4.9%
24)コミュニティバスなどの公共交通の充実 31.5% 38.5% 17.9% 2.8% 1.2% 2.8% 5.3%
25)上・下水道の整備、雨水対策 50.3% 33.2% 9.3% 2.1% 5.1%
26)公園緑地の整備、身近な緑と花の充実 29.7% 43.4% 16.9% 1.4% 1.2% 2.1% 5.3%
27)市営住宅の整備 14.4% 22.0% 33.2% 4.2% 5.1% 15.8% 5.3%
28)ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進 28.1% 39.7% 17.9% 1.8% 5.3% 5.8%
29)地域コミュニティ・市民活動の活性化 18.8% 38.0% 27.4% 1.9% 1.6% 6.5% 5.8%
30)人権擁護と平和意識の高揚 21.3% 30.2% 26.7% 2.8% 3.5% 9.5% 6.0%
31)国際交流の推進 11.6% 27.8% 33.2% 6.0% 5.6% 9.3% 6.5%
32)男女共同参画の推進 13.5% 29.2% 32.5% 4.4% 3.3% 10.4% 6.7%
33)市民参画と協働の推進 14.4% 30.9% 32.0% 3.0% 1.1% 11.6% 7.0%
34)市役所の窓口サービス充実と利便性向上 35.5% 40.1% 13.9% 3.3% 5.6%
35)財政の健全化 51.3% 25.3% 10.9% 5.6% 5.6%
36)公共施設の計画的な改修・改築 37.6% 33.9% 16.0% 1.4% 4.4% 6.0%

平均値順（重要度）

※各項目の上位３つは黄色、下位３つは緑色で網掛け。

順位	項　目	1	2	3	4	5	6	平均値	H28	H27	3か年平均	3か年平均との比較
1	2）防犯対策	303	90	14	1	1	3	4.69	4.66	4.58	4.64	0.05
2	1）防災対策	291	102	11	2	0	6	4.68	4.72	4.57	4.66	0.02
3	5）消防・救急体制	283	99	26	3	0	3	4.61	4.63	4.61	4.62	▲ 0.01
4	3）交通安全対策	231	141	34	3	1	5	4.46	4.44	4.35	4.42	0.04
5	25）上・下水道の整備、雨水対策	217	143	40	0	0	9	4.44	4.39	4.23	4.35	0.09
6	10）国民健康保険、介護など社会保障の充実	233	129	34	6	4	9	4.43	4.46	4.30	4.40	0.03
7	35）財政の健全化	221	109	47	4	2	24	4.42	4.38	4.37	4.39	0.03
8	7）学校教育の充実	208	115	49	3	0	29	4.41	4.39	4.39	4.40	0.01
9	6）子育て支援	206	116	43	5	1	31	4.40	4.38	4.35	4.38	0.02
10	14）市立病院の充実	219	124	48	4	5	12	4.37	4.37	4.10	4.28	0.09
11	21）蕨駅周辺の整備	185	164	43	5	2	9	4.32	4.19	4.15	4.22	0.10
12	23）道路・歩道の整備	181	163	53	6	1	6	4.28	4.23	4.12	4.21	0.07
13	12）障害者支援	173	145	63	5	5	18	4.22	4.21	4.14	4.19	0.03
14	34）市役所の窓口サービス充実と利便性向上	153	173	60	4	3	14	4.19	4.12	4.14	4.15	0.04
15	8）青少年の健全育成	158	140	68	8	1	26	4.19	4.25	4.20	4.21	▲ 0.02
16	36）公共施設の計画的な改修・改築	162	146	69	6	3	19	4.19	4.12	3.95	4.09	0.10
17	11）高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進	139	170	75	9	5	13	4.08	4.00	3.92	4.00	0.08
18	16）商店街の活性化	150	148	83	15	3	12	4.07	3.95	3.91	3.98	0.09
18	26）公園緑地の整備、身近な緑と花の充実	128	187	73	6	5	9	4.07	3.99	3.83	3.96	0.11
20	9）地域における支え合いなど地域福祉活動の促進	120	185	69	8	5	18	4.05	3.98	3.91	3.98	0.07
21	24）コミュニティバスなどの公共交通の充実	136	166	77	12	5	12	4.05	3.94	3.88	3.96	0.09
22	4）消費者保護	128	165	79	14	2	22	4.04	3.96	3.96	3.99	0.05
23	28）ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進	121	171	77	8	6	23	4.03	4.05	4.00	4.03	0.00
24	13）健康づくりの推進	128	169	78	14	4	15	4.03	4.03	3.85	3.97	0.06
25	17）勤労者支援	101	165	103	9	4	25	3.92	3.85	3.80	3.86	0.06
26	22）区画整理	104	148	103	16	6	30	3.87	3.79	3.76	3.81	0.06
27	29）地域コミュニティ・市民活動の活性化	81	164	118	8	7	28	3.80	3.69	3.71	3.73	0.07
28	15）地域資源を活用したまちの魅力の発信	90	147	128	20	5	21	3.76	3.73	3.72	3.74	0.02
29	18）生涯学習の充実	78	163	127	14	6	19	3.76	3.69	3.57	3.67	0.09
30	30）人権擁護と平和意識の高揚	92	130	115	12	15	41	3.75	3.67	3.61	3.68	0.07
31	33）市民参画と協働の推進	62	133	138	13	5	50	3.67	3.60	3.64	3.64	0.03
32	20）スポーツ・レクリエーション活動の推進	65	144	143	21	11	24	3.60	3.61	3.49	3.57	0.03
33	19）芸術・文化活動の振興	74	135	136	28	12	25	3.60	3.59	3.47	3.55	0.05
34	32）男女共同参画の推進	58	126	140	19	14	45	3.55	3.47	3.43	3.48	0.07
35	27）市営住宅の整備	62	95	143	18	22	68	3.46	3.39	3.24	3.36	0.10
36	31）国際交流の推進	50	120	143	26	24	40	3.40	3.30	3.34	3.35	0.05
				施策重要度平均				4.08	4.03	3.96	4.03	0.05

●市民が重要と思う施策は、平均値からみると、１位「防犯対策」（前年２位）、２位「防災対策」（前年１位）、３位「消防・救急体制」（前年３位）となり、【安全で安心して暮らせるまち】の分野が上位を占めています。それに対し、「男女共同参画の推進」、「市営住宅の整備」、「国際交流の推進」などの施策は、重要度が下位となっており、各項目の順位はこれまでと似たような傾向となっています。

●施策全体の平均は前年度と比べて0.05ポイント上がっています。もっとも上昇している項目は、「蕨駅周辺の整備」が0.13ポイントで、「商店街の活性化」、「地域コミュニティ・市民活動の活性化」、「コミュニティバスなどの公共交通の充実」、「国際交流の推進」が0.1ポイント以上上昇しています。

●平成27年度からの3年間を比較すると、全体的に重要度のゆるやかな上昇傾向が見られます。

● **重点施策（満足度）**　※項目は、「コンパクトシティ蕨」将来ビジョン実現計画の柱に沿って掲載しています

問28	あなたにとって、次に示す市の施策の重要度・満足度はどのくらいですか。1～３６の各項目について、あなたの気持ちに近いものをそれぞれ１つずつお選びください

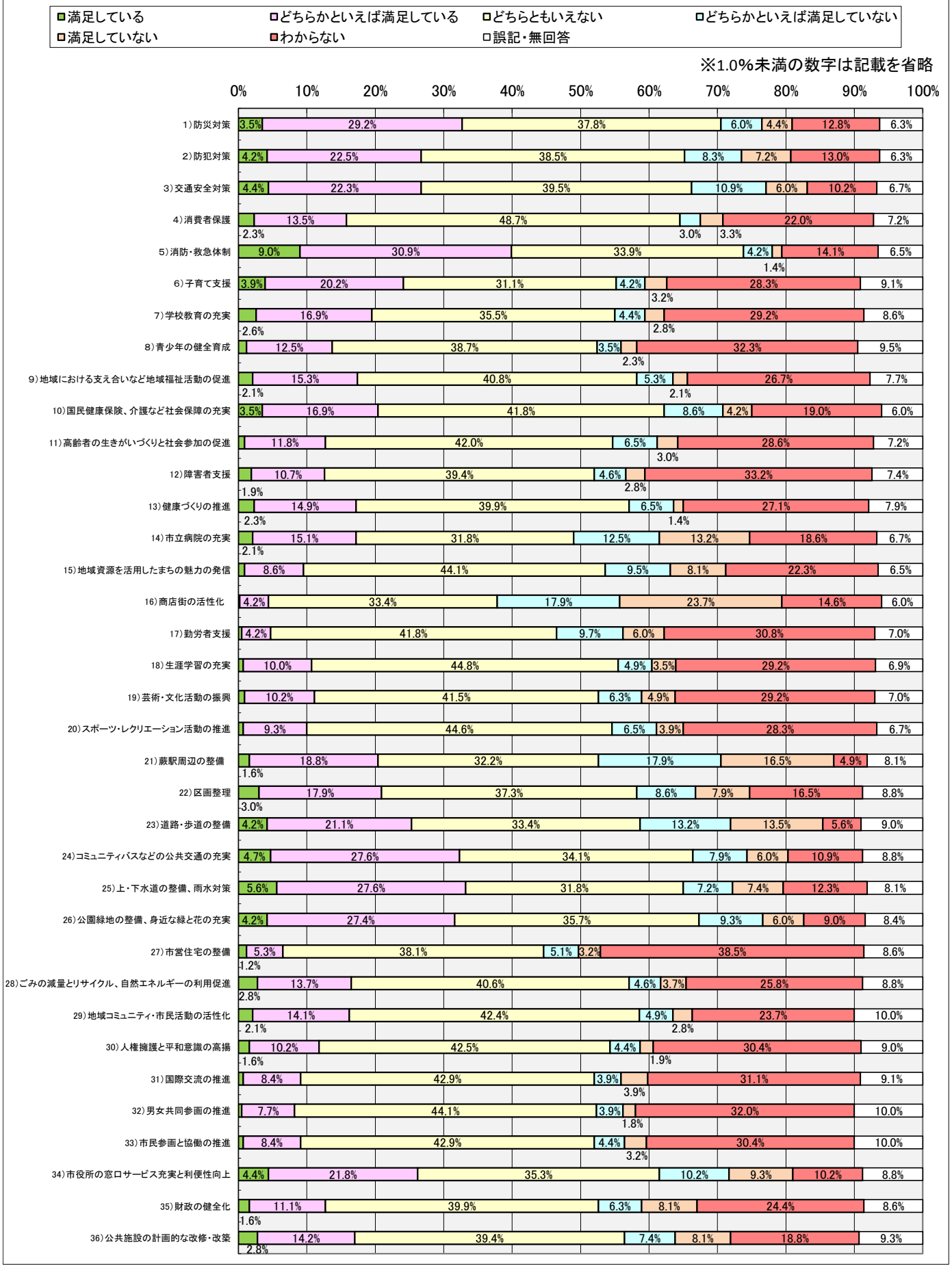
１：満足している　２：どちらかといえば満足している　３：どちらともいえない
４：どちかといえば満足していない　５：満足していない　６：わからない

（件）

	1	2	3	4	5	6	誤記・無回答	平均値	（ ）内は昨年の順位
【安全で安心して暮らせるまち】									
１）防災対策	15	126	163	26	19	55	27	3.26	3(6)
２）防犯対策	18	97	166	36	31	56	27	3.10	14(26)
３）交通安全対策	19	96	170	47	26	44	29	3.10	15(16)
４）消費者保護	10	58	210	13	14	95	31	3.12	10(14)
５）消防・救急体制	39	133	146	18	6	61	28	3.53	1(1)
【豊かな個性を育み子供たちの未来輝くまち】									
６）子育て支援	17	87	134	18	14	122	39	3.28	2(3)
７）学校教育の充実	11	73	153	19	12	126	37	3.19	6(9)
８）青少年の健全育成	5	54	167	15	10	139	41	3.12	12(19)
【みんなにあたたかく健康に生活できるまち】									
９）地域における支え合いなど地域福祉活動の促進	9	66	176	23	9	115	33	3.15	9(11)
10）国民健康保険、介護など社会保障の充実	15	73	180	37	18	82	26	3.09	16(13)
11）高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進	4	51	181	28	13	123	31	3.02	20(20)
12）障害者支援	8	46	170	20	12	143	32	3.07	18(17)
13）健康づくりの推進	10	64	172	28	6	117	34	3.16	8(8)
14）市立病院の充実	9	65	137	54	57	80	29	2.74	33(34)
【にぎわいと活力、市民文化と歴史がとけあう元気なまち】									
15）地域資源を活用したまちの魅力の発信	4	37	190	41	35	96	28	2.79	32(31)
16）商店街の活性化	1	18	144	77	102	63	26	2.24	36(36)
17）勤労者支援	2	18	180	42	26	133	30	2.73	34(35)
18）生涯学習の充実	3	43	193	21	15	126	30	2.99	23(24)
19）芸術・文化活動の振興	4	44	179	27	21	126	30	2.94	28(23)
20）スポーツ・レクリエーション活動の推進	3	40	192	28	17	122	29	2.94	27(25)
【快適で過ごしやすく環境にやさしいまち】									
21）蕨駅周辺の整備	7	81	139	77	71	21	35	2.67	35(33)
22）区画整理	13	77	161	37	34	71	38	2.99	22(30)
23）道路・歩道の整備	18	91	144	57	58	24	39	2.88	31(32)
24）コミュニティバスなどの公共交通の充実	20	119	147	34	26	47	38	3.21	4(4)
25）上・下水道の整備、雨水対策	24	119	137	31	32	53	35	3.21	5(2)
26）公園緑地の整備、身近な緑と花の充実	18	118	154	40	26	39	36	3.17	7(5)
27）市営住宅の整備	5	23	164	22	14	166	37	2.93	29(29)
28）ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進	12	59	175	20	16	111	38	3.11	13(15)
【一人ひとりの心でつなぐ笑顔あふれるまち】									
29）地域コミュニティ・市民活動の活性化	9	61	183	21	12	102	43	3.12	11(7)
30）人権擁護と平和意識の高揚	7	44	183	19	8	131	39	3.09	17(12)
31）国際交流の推進	3	36	185	17	17	134	39	2.97	25(22)
32）男女共同参画の推進	2	33	190	17	8	138	43	3.02	21(18)
【その他】									
33）市民参画と協働の推進	3	36	185	19	14	131	43	2.98	24(21)
34）市役所の窓口サービス充実と利便性向上	19	94	152	44	40	44	38	3.02	19(10)
35）財政の健全化	7	48	172	27	35	105	37	2.88	30(27)
36）公共施設の計画的な改修・改築	12	61	170	32	35	81	40	2.95	26(28)

施策満足度平均	3.02

施策満足度　回答別割合


満足している
どちらかといえば満足している
どちらともいえない
どちらかといえば満足していない
満足していない
わからない
誤記・無回答
※1.0%未満の数字は記載を省略
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
1）防災対策 3.5% 29.2% 37.8% 6.0% 4.4% 12.8% 6.3%
2）防犯対策 4.2% 22.5% 38.5% 8.3% 7.2% 13.0% 6.3%
3）交通安全対策 4.4% 22.3% 39.5% 10.9% 6.0% 10.2% 6.7%
4）消費者保護 13.5% 48.7% 22.0% 7.2% 2.3% 3.0% 3.3%
5）消防・救急体制 9.0% 30.9% 33.9% 4.2% 14.1% 6.5% 1.4%
6）子育て支援 3.9% 20.2% 31.1% 4.2% 28.3% 9.1% 3.2%
7）学校教育の充実 16.9% 35.5% 4.4% 29.2% 8.6% 2.6% 2.8%
8）青少年の健全育成 12.5% 38.7% 3.5% 32.3% 9.5% 2.3%
9）地域における支え合いなど地域福祉活動の促進 15.3% 40.8% 5.3% 26.7% 7.7% 2.1% 2.1%
10）国民健康保険、介護など社会保障の充実 3.5% 16.9% 41.8% 8.6% 4.2% 19.0% 6.0%
11）高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進 11.8% 42.0% 6.5% 28.6% 7.2% 3.0%
12）障害者支援 10.7% 39.4% 4.6% 33.2% 7.4% 1.9% 2.8%
13）健康づくりの推進 14.9% 39.9% 6.5% 27.1% 7.9% 2.3% 1.4%
14）市立病院の充実 15.1% 31.8% 12.5% 13.2% 18.6% 6.7% 2.1%
15）地域資源を活用したまちの魅力の発信 8.6% 44.1% 9.5% 8.1% 22.3% 6.5%
16）商店街の活性化 4.2% 33.4% 17.9% 23.7% 14.6% 6.0%
17）勤労者支援 4.2% 41.8% 9.7% 6.0% 30.8% 7.0%
18）生涯学習の充実 10.0% 44.8% 4.9% 3.5% 29.2% 6.9%
19）芸術・文化活動の振興 10.2% 41.5% 6.3% 4.9% 29.2% 7.0%
20）スポーツ・レクリエーション活動の推進 9.3% 44.6% 6.5% 3.9% 28.3% 6.7%
21）蕨駅周辺の整備 18.8% 32.2% 17.9% 16.5% 4.9% 8.1% 1.6%
22）区画整理 17.9% 37.3% 8.6% 7.9% 16.5% 8.8% 3.0%
23）道路・歩道の整備 4.2% 21.1% 33.4% 13.2% 13.5% 5.6% 9.0%
24）コミュニティバスなどの公共交通の充実 4.7% 27.6% 34.1% 7.9% 6.0% 10.9% 8.8%
25）上・下水道の整備、雨水対策 5.6% 27.6% 31.8% 7.2% 7.4% 12.3% 8.1%
26）公園緑地の整備、身近な緑と花の充実 4.2% 27.4% 35.7% 9.3% 6.0% 9.0% 8.4%
27）市営住宅の整備 5.3% 38.1% 5.1% 3.2% 38.5% 8.6% 1.2%
28）ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進 13.7% 40.6% 4.6% 3.7% 25.8% 8.8% 2.8%
29）地域コミュニティ・市民活動の活性化 14.1% 42.4% 4.9% 23.7% 10.0% 2.1% 2.8%
30）人権擁護と平和意識の高揚 10.2% 42.5% 4.4% 30.4% 9.0% 1.6% 1.9%
31）国際交流の推進 8.4% 42.9% 3.9% 31.1% 9.1% 3.9%
32）男女共同参画の推進 7.7% 44.1% 3.9% 32.0% 10.0% 1.8%
33）市民参画と協働の推進 8.4% 42.9% 4.4% 30.4% 10.0% 3.2%
34）市役所の窓口サービス充実と利便性向上 4.4% 21.8% 35.3% 10.2% 9.3% 10.2% 8.8%
35）財政の健全化 11.1% 39.9% 6.3% 8.1% 24.4% 8.6% 1.6%
36）公共施設の計画的な改修・改築 14.2% 39.4% 7.4% 8.1% 18.8% 9.3% 2.8%

平均値順（満足度）

※各項目の上位３つは黄色、下位３つは緑色で網掛け。

順位	項　目	1	2	3	4	5	6	平均値	H28	H27	3か年平均	3か年平均との比較
1	５）消防・救急体制	39	133	146	18	6	61	3.53	3.42	3.50	3.48	0.05
2	６）子育て支援	17	87	134	18	14	122	3.28	3.28	3.10	3.22	0.06
3	１）防災対策	15	126	163	26	19	55	3.26	3.20	3.17	3.21	0.05
4	24）コミュニティバスなどの公共交通の充実	20	119	147	34	26	47	3.21	3.27	3.13	3.20	0.01
5	25）上・下水道の整備、雨水対策	24	119	137	31	32	53	3.21	3.31	3.09	3.20	0.01
6	７）学校教育の充実	11	73	153	19	12	126	3.19	3.14	3.01	3.11	0.08
7	26）公園緑地の整備、身近な緑と花の充実	18	118	154	40	26	39	3.17	3.22	3.11	3.17	0.00
8	13）健康づくりの推進	10	64	172	28	6	117	3.16	3.14	3.10	3.13	0.03
9	９）地域における支え合いなど地域福祉活動の促進	9	66	176	23	9	115	3.15	3.10	3.08	3.11	0.04
10	４）消費者保護	10	58	210	13	14	95	3.12	3.07	2.99	3.06	0.06
11	29）地域コミュニティ・市民活動の活性化	9	61	183	21	12	102	3.12	3.17	3.10	3.13	▲ 0.01
12	８）青少年の健全育成	5	54	167	15	10	139	3.12	3.03	2.94	3.03	0.09
13	28）ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進	12	59	175	20	16	111	3.11	3.07	2.95	3.04	0.07
14	２）防犯対策	18	97	166	36	31	56	3.10	2.98	2.91	3.00	0.10
15	３）交通安全対策	19	96	170	47	26	44	3.10	3.07	3.03	3.07	0.03
16	10）国民健康保険、介護など社会保障の充実	15	73	180	37	18	82	3.09	3.07	3.00	3.05	0.04
17	30）人権擁護と平和意識の高揚	7	44	183	19	8	131	3.09	3.08	3.06	3.08	0.01
18	12）障害者支援	8	46	170	20	12	143	3.07	3.06	3.01	3.05	0.02
19	34）市役所の窓口サービス充実と利便性向上	19	94	152	44	40	44	3.02	3.11	2.97	3.03	▲ 0.01
20	11）高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進	4	51	181	28	13	123	3.02	3.03	3.00	3.02	0.00
21	32）男女共同参画の推進	2	33	190	17	8	138	3.02	3.03	2.99	3.01	0.01
22	22）区画整理	13	77	161	37	34	71	2.99	2.84	2.78	2.87	0.12
23	18）生涯学習の充実	3	43	193	21	15	126	2.99	3.00	2.96	2.98	0.01
24	33）市民参画と協働の推進	3	36	185	19	14	131	2.98	3.02	2.97	2.99	▲ 0.01
25	31）国際交流の推進	3	36	185	17	17	134	2.97	3.01	3.01	3.00	▲ 0.03
26	36）公共施設の計画的な改修・改築	12	61	170	32	35	81	2.95	2.94	2.87	2.92	0.03
27	20）スポーツ・レクリエーション活動の推進	3	40	192	28	17	122	2.94	2.99	2.91	2.95	▲ 0.01
28	19）芸術・文化活動の振興	4	44	179	27	21	126	2.94	3.00	2.89	2.94	0.00
29	27）市営住宅の整備	5	23	164	22	14	166	2.93	2.94	2.91	2.93	0.00
30	35）財政の健全化	7	48	172	27	35	105	2.88	2.97	2.82	2.89	▲ 0.01
31	23）道路・歩道の整備	18	91	144	57	58	24	2.88	2.80	2.75	2.81	0.07
32	15）地域資源を活用したまちの魅力の発信	4	37	190	41	35	96	2.79	2.84	2.66	2.76	0.03
33	14）市立病院の充実	9	65	137	54	57	80	2.74	2.67	2.69	2.70	0.04
34	17）勤労者支援	2	18	180	42	26	133	2.73	2.67	2.68	2.69	0.04
35	21）蕨駅周辺の整備	7	81	139	77	71	21	2.67	2.69	2.61	2.66	0.01
36	16）商店街の活性化	1	18	144	77	102	63	2.24	2.36	2.23	2.28	▲ 0.04
				施策満足度平均				3.02	3.02	2.94	2.99	0.03

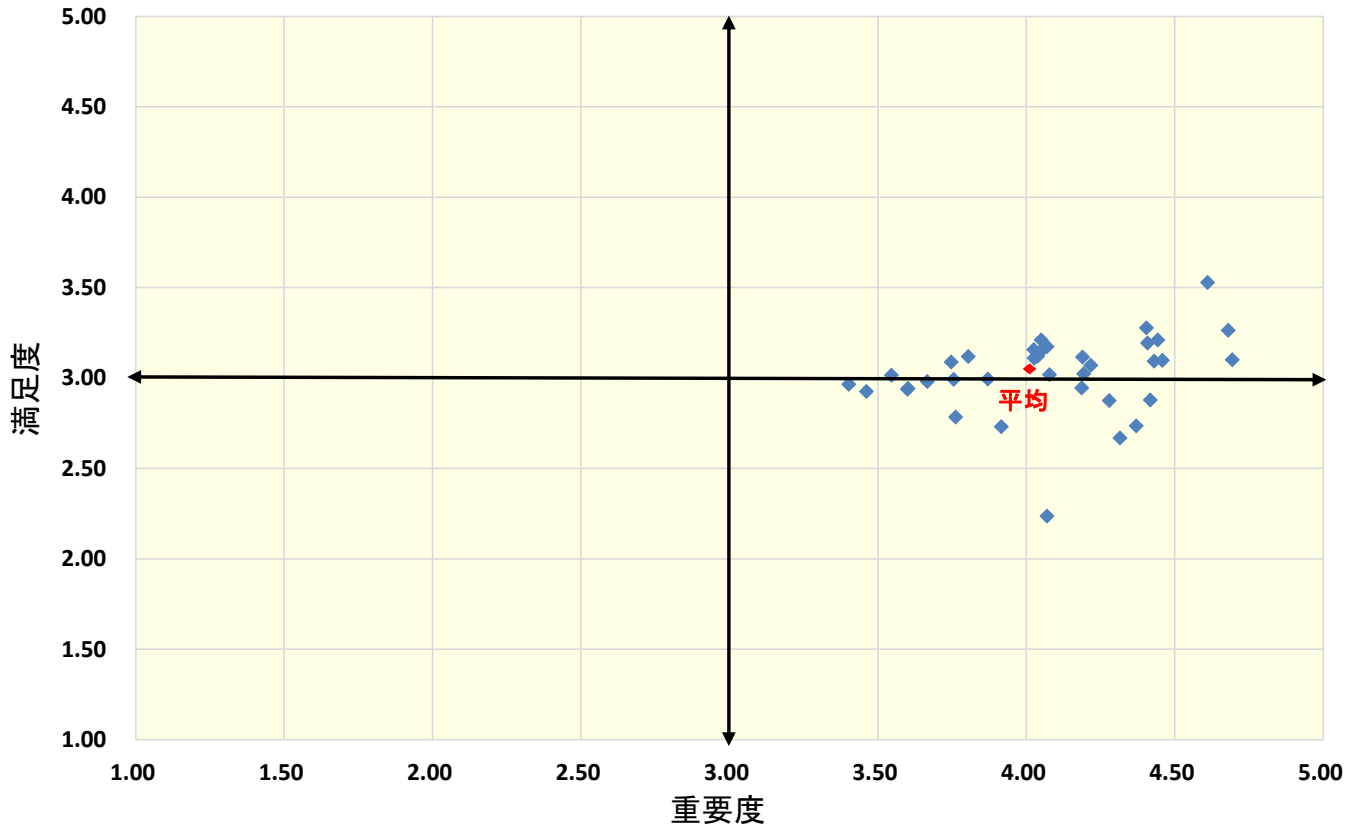
●市民の満足度が高い施策は、１位「消防・救急体制」（前年１位）、２位「子育て支援」（前年３位）、３位「防災対策」（前年６位）となっています。それに対し、「商店街の活性化」、「蕨駅周辺の整備」、「勤労者支援」は、満足度が低くなっており、各項目の順位に若干の上下動が見られます。

●施策全体の平均は前年度と同じ数値となります。「区画整理」、「防犯対策」、「消防・救急体制」が0.1ポイント以上の上昇が見られる一方で、「商店街の活性化」、「上・下水道の整備、雨水対策」がそれぞれ0.1ポイント以上の下降が見られます。

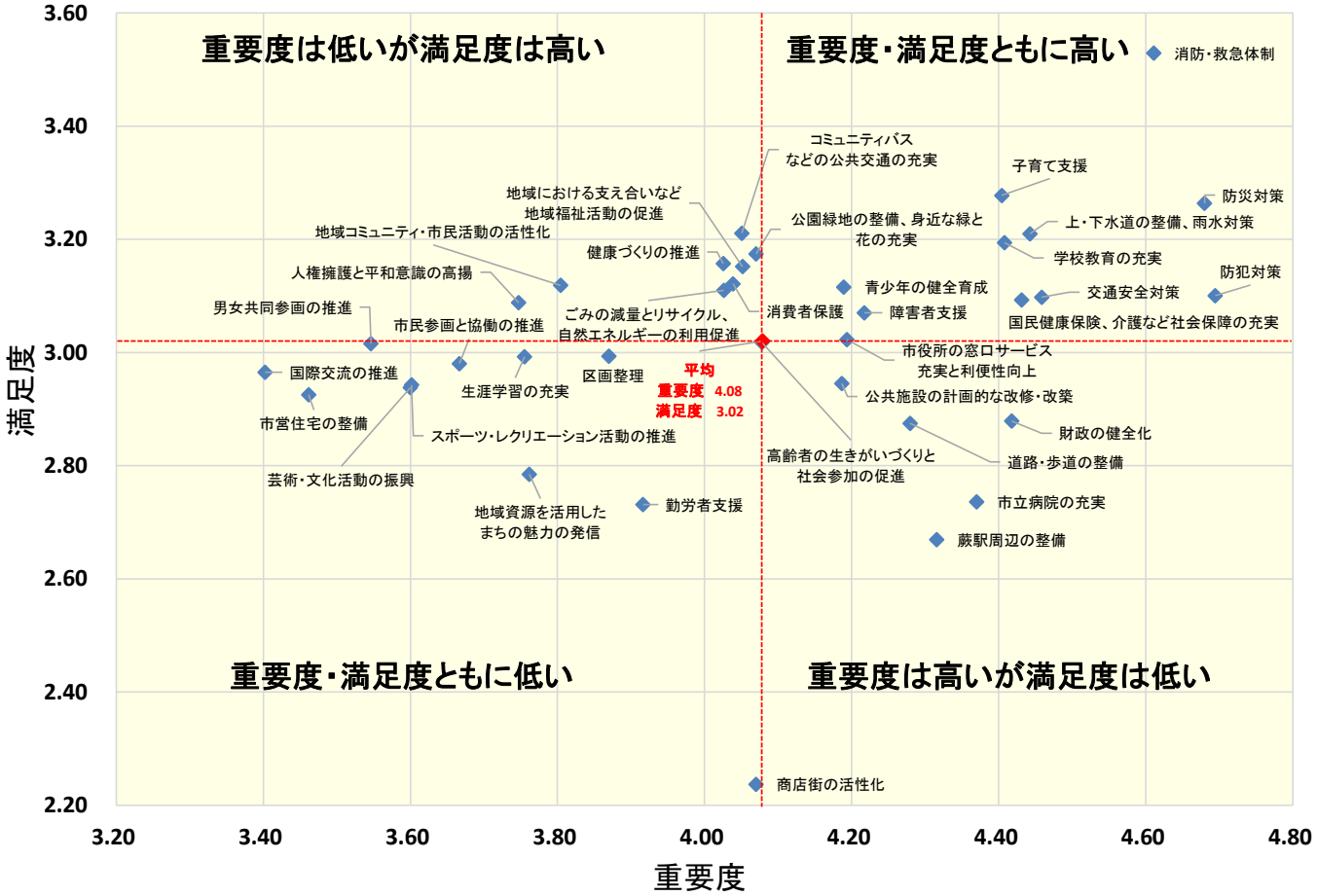
●平成27年度からの3年間を比較すると、全体的に満足度のゆるやかな上昇傾向が見られます。

●満足度は「わからない」という回答が全体に多く、直接かかわりが実感しにくい施策については、その効果がよく分からないことが考えられます。そうした傾向が顕著な施策としては、「わからない」の割合が３割を超える「市営住宅の整備」、「障害者支援」などが挙げられます。

ポジショニングマップ（全体）



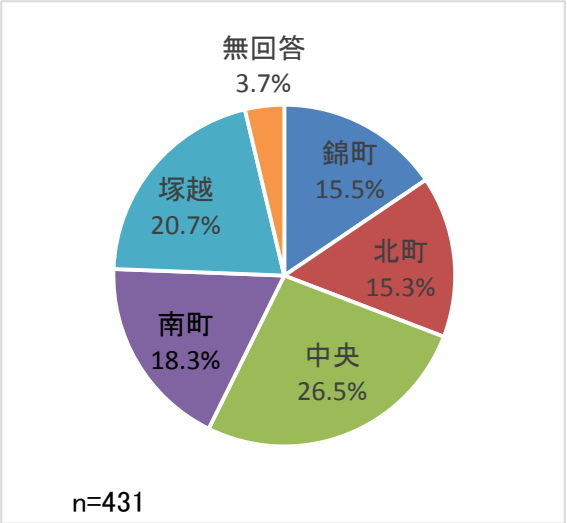
ポジショニングマップ(拡大図)



【属　　性】

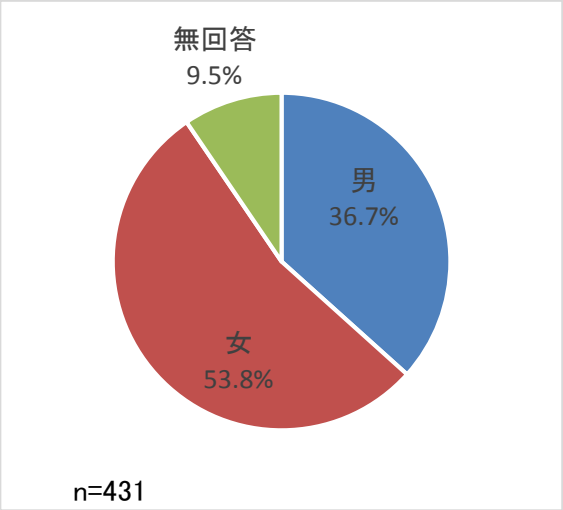
ア．地区

回答対象者:431人	件数	割合	参考 抽出割合
錦町	67	15.5%	14.2%
北町	66	15.3%	15.6%
中央	114	26.5%	28.9%
南町	79	18.3%	17.4%
塚越	89	20.7%	23.9%
無回答	16	3.7%	



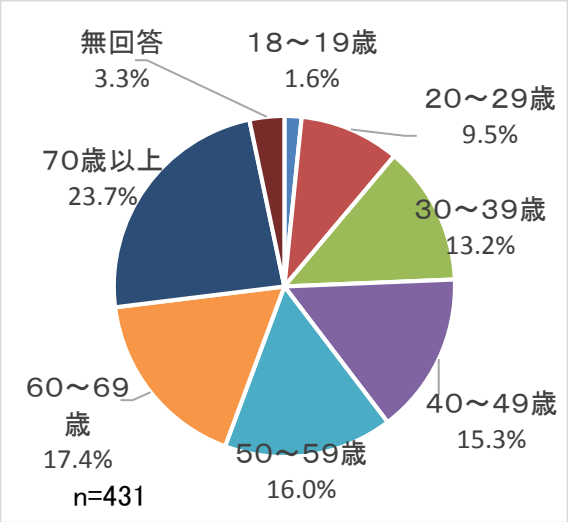
イ．性別

回答対象者:431人	件数	割合	参考 抽出割合
男	158	36.7%	50.7%
女	232	53.8%	49.3%
無回答	41	9.5%	



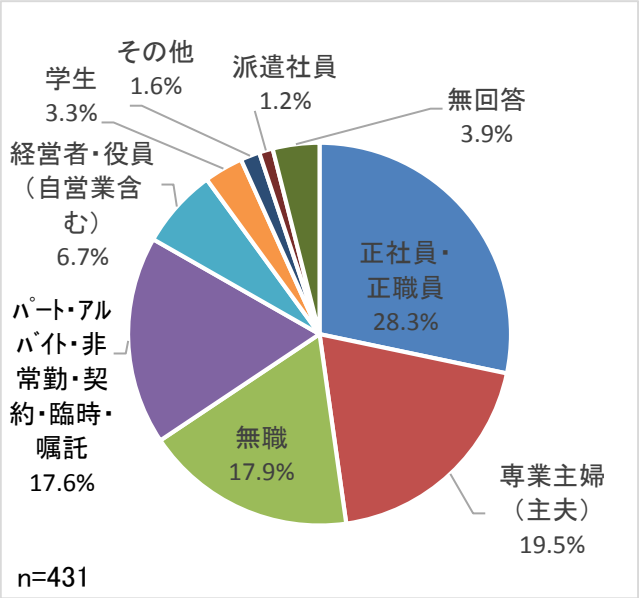
ウ．年齢層

回答対象者:431人	件数	割合	参考 抽出割合
18～19歳	7	1.6%	2.1%
20～29歳	41	9.5%	15.8%
30～39歳	57	13.2%	16.8%
40～49歳	66	15.3%	17.9%
50～59歳	69	16.0%	14.6%
60～69歳	75	17.4%	13.9%
70歳以上	102	23.7%	18.9%
無回答	14	3.3%	



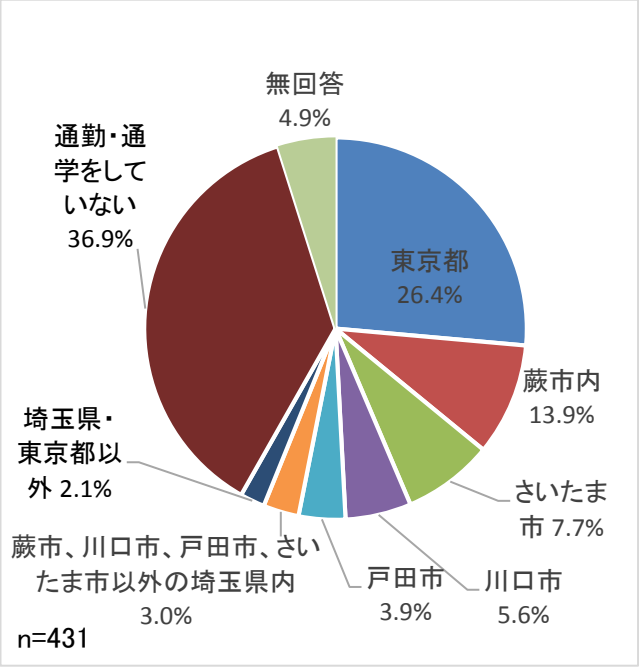
エ. 職業

回答対象者:431人	件数	割合	順位
正社員・正職員	122	28.3%	1
専業主婦 （主夫）	84	19.5%	2
無職	77	17.9%	3
ﾊﾟｰﾄ・ｱﾙﾊﾞｲﾄ・非常勤・ｷ	76	17.6%	4
経営者・役員（自営業含	29	6.7%	5
学生	14	3.3%	6
その他	7	1.6%	7
派遣社員	5	1.2%	8
無回答	17	3.9%	



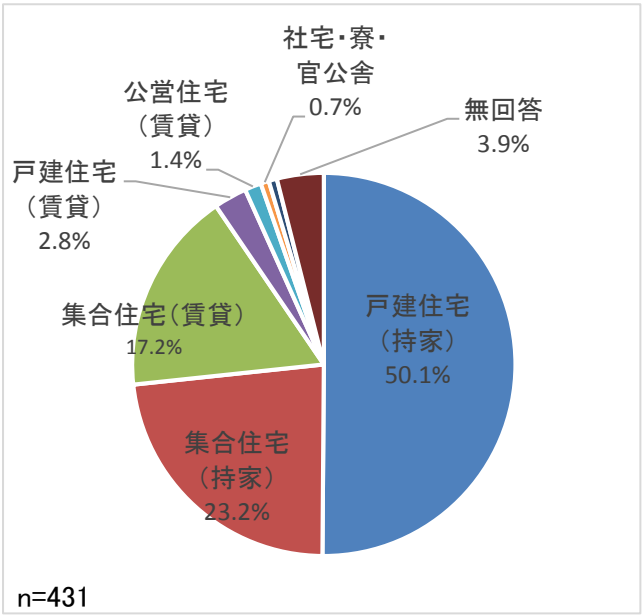
オ. 通勤・通学地

回答対象者:431人	件数	割合	順位
東京都	114	26.4%	1
蕨市内	41	9.5%	2
さいたま市	33	7.7%	3
川口市	24	5.6%	4
戸田市	17	3.9%	5
蕨市、川口市、戸田市、さいたま市以外の埼玉県内	13	3.0%	6
埼玉県・東京都以外	9	2.1%	7
通勤・通学をしていない	159	36.9%	
無回答	21	4.9%	



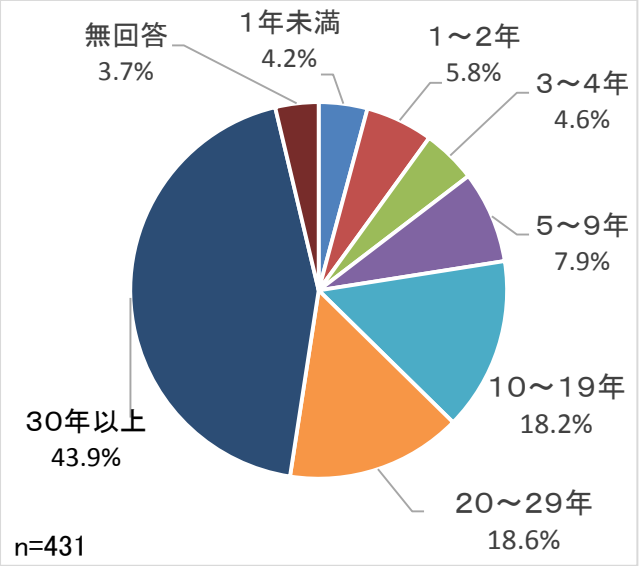
カ. 住宅形態

回答対象者:431人	件数	割合	順位
戸建住宅（持家）	216	50.1%	1
集合住宅（持家）	100	23.2%	2
集合住宅（賃貸）	74	17.2%	3
戸建住宅（賃貸）	12	2.8%	4
公営住宅（賃貸）	6	1.4%	5
社宅・寮・官公舎	3	0.7%	6
店舗、事務所、工場等との併用住宅	3	0.7%	6
無回答	17	3.9%	



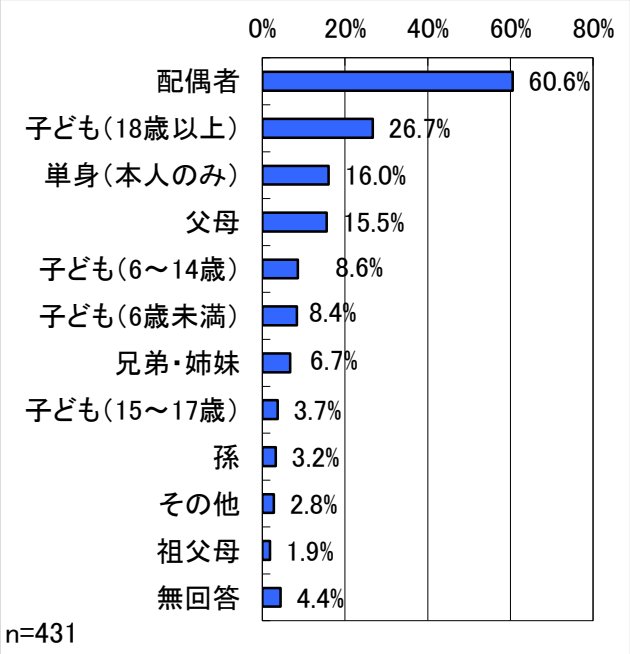
キ. 居住年数

回答対象者:431人	件数	割合	順位
1年未満	18	4.2%	7
1～2年	25	5.8%	5
3～4年	20	4.6%	6
5～9年	34	7.9%	4
10～19年	64	14.8%	3
20～29年	65	15.1%	2
30年以上	189	43.9%	1
無回答	16	3.7%	



ク. 家族構成

回答対象者:431人	件数	割合	順位
配偶者	261	60.6%	1
子ども(18歳以上)	115	26.7%	2
単身(本人のみ)	69	16.0%	3
父母	67	15.5%	4
子ども(6～14歳)	37	8.6%	5
子ども(6歳未満)	36	8.4%	6
兄弟・姉妹	29	6.7%	7
子ども(15～17歳)	16	3.7%	8
孫	14	3.2%	9
その他	12	2.8%	10
祖父母	8	1.9%	11
無回答	19	4.4%	



平成２９年度市民意識調査報告書

平成29年11月発行

発　行　　蕨　市
編　集　　蕨市総務部政策企画室

〒335－8501　蕨市中央5－14－15
電　　話　　048－433－7698
E-Mail　　seisaku@city.warabi.saitama.jp